

5.2 自然的状況

5.2.1 大気質、騒音、振動、悪臭、気象その他の大気に係る環境の状況

(1) 気象

1) 降水量・気温・日照時間

計画区域から至近の気象観測所は、図 5.2-1に示すとおり、寄居地域気象観測所（埼玉県寄居町）である。

平成30年及び過去10年間の気象の状況は表 5.2-1及び表 5.2-2に示すとおりである。

表 5.2-1 寄居地域気象観測所における気象の状況（平成 30 年）

月	降水量(mm)				気温(°C)					日照時間(h)
	合計	日最大	最大		平均			最高	最低	
			1時間	10分間	日平均	日最高	日最低			
1	15.5	12.0	2.0	0.5	2.4	8.7	-3.7	17.4	-8.5	219.4
2	13.5	7.0	2.0	1.0	2.7	9.1	-3.5	15.5	-7.4	196.0
3	114.0	30.5	8.0	2.0	9.2	16.0	2.6	25.0	-3.2	220.7
4	37.5	15.5	6.5	1.5	15.0	22.2	8.4	30.2	-0.3	229.5
5	116.0	31.0	11.5	2.5	18.5	25.1	12.3	31.4	5.3	208.7
6	114.0	45.5	6.5	5.5	21.9	27.1	17.1	37.5	13.8	206.5
7	136.0	55.5	13.5	7.5	27.7	33.6	23.0	39.9	18.4	231.9
8	166.5	38.5	26.5	16.5	27.1	33.2	22.4	38.3	14.5	211.9
9	299.5	101.5	55.0	15.5	21.5	25.7	18.5	33.1	13.3	75.4
10	33.0	21.5	48.0	11.0	17.0	22.3	12.7	33.0	5.7	145.0
11	20.5	15.5	10.5	3.5	11.3	17.3	6.1	23.5	0.3	165.1
12	16.5	7.0	2.5	1.0	5.7	12.0	-0.2	20.0	-5.5	173.3

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁HP）

表 5.2-2 寄居地域気象観測所における気象の状況（平成 21 年～平成 30 年）

年	降水量(mm)		気温(°C)			日照時間(h)
	合計	日最大	平均	最高	最低	
平成 21 年	1058.0	111.0	14.2	36.0	-5.7	1907.4
平成 22 年	1475.0	64.5	14.4	38.2	-7.4	2099.1
平成 23 年	1595.0	150.5	14.0	39.2	-7.3	2168.4
平成 24 年	1218.5	141.5	13.7	37.1	-8.2	2182.8
平成 25 年	1105.0	96.5	14.3	38.9	-7.7	2275.6
平成 26 年	1398.5	173.5	13.9	38.0	-8.2	2272.5
平成 27 年	1226.0	142.5	14.6	38.3	-6.1	2074.0
平成 28 年	1192.5	163.5	14.6	37.3	-7.4	1999.2
平成 29 年	1238.0	118.5	13.9	36.5	-7.1	2208.2
平成 30 年	1082.5	101.5	15.0	39.9	-8.5	2283.4

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁HP）

2) 風向・風速

寄居地域気象観測所の平成30年における月別風向・風速は表 5.2-3に、平成21年～30年における風向風速の年間推移は表 5.2-4に、月別風向頻度は図 5.2-3に示すとおりである。

平成30年における最多風向は西北西、平均風速は1.6m/sであった。また、過去10年間における年間最多風向は西北西であった

表 5.2-3 寄居地域気象観測所における月別風向・風速（平成30年）

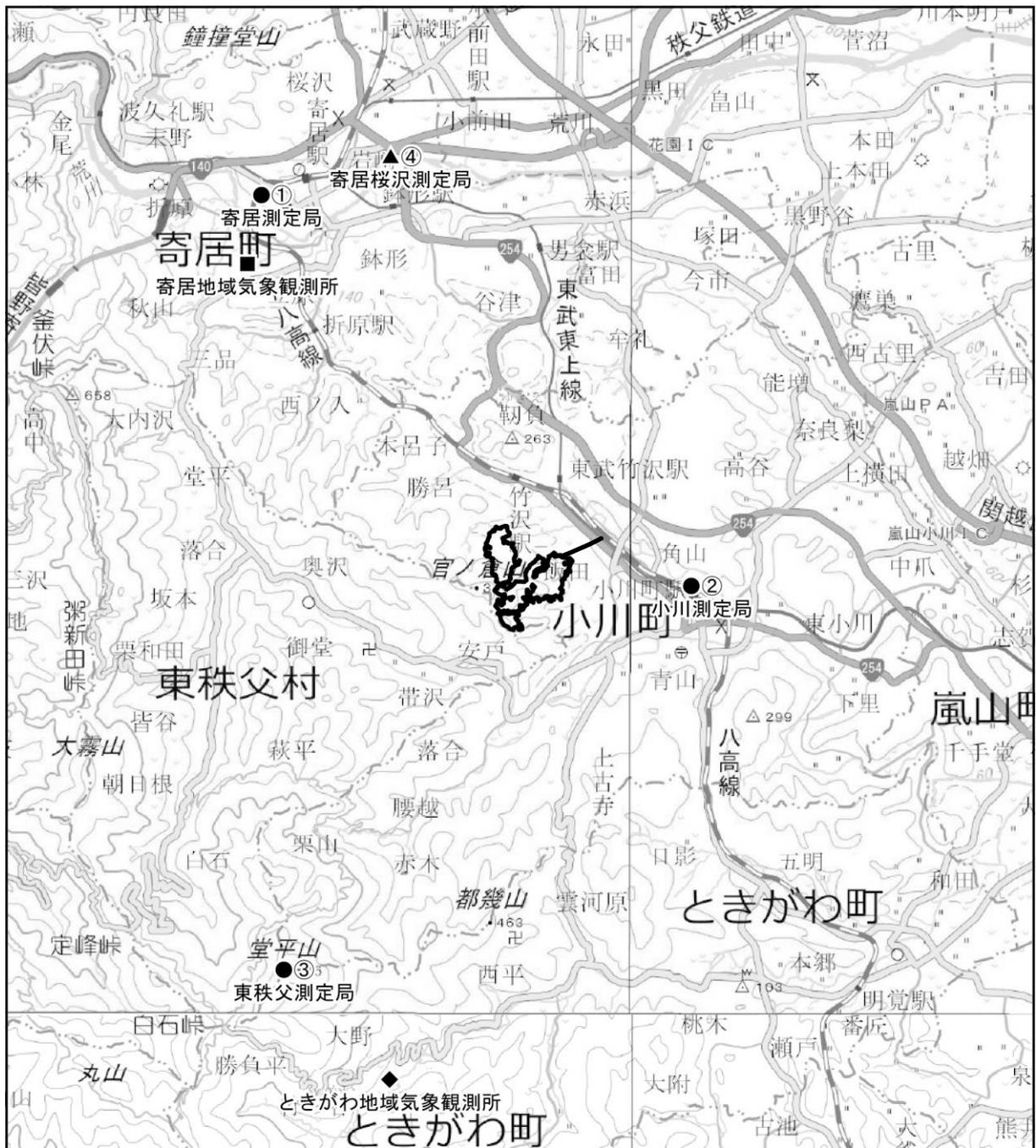
月	最多風向	平均風速(m/s)	最大風速及びその時の風向	
			風速(m/s)	風向
1	西北西	2.3	9.5	西北西
2	西北西	1.9	10.0	北西
3	北西	2.0	8.8	西北西
4	北西	1.8	7.9	北西
5	西北西	1.4	7.8	北西
6	東南東	1.3	6.6	西南西
7	北西	1.3	5.0	北西
8	北西	1.3	7.1	北北東
9	北西	1.0	9.9	南東
10	西北西	1.2	11.5	南東
11	西	1.3	6.8	北西
12	西北西	1.9	8.8	北西
年間	西北西	1.6	11.5	南東

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁HP）

表 5.2-4 寄居地域気象観測所における風向・風速の年間推移（平成21年～平成30年）

年	最多風向	平均風速(m/s)	最大風速及びその時の風向	
			風速(m/s)	風向
平成21年	西北西	1.6	12.3	北
平成22年	西北西	1.5	11.4	北西
平成23年	西北西	1.7	11.2	西北西
平成24年	西北西	1.8	13.4	西
平成25年	西北西	1.8	15.9	北西
平成26年	西北西	1.8	11.2	北西
平成27年	西北西	1.6	11.5	北西
平成28年	西北西	1.6	11.8	北西
平成29年	西北西	1.7	11.5	西北西
平成30年	西北西	1.6	11.5	南東

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁HP）



凡 例

- 計画区域及び関連施設
- 市町村界
- 寄居地域気象観測所
- ときがわ地域気象観測所
- ①~③ 一般環境大気測定局
- ▲④ 自動車排出ガス測定局

N



1:100,000

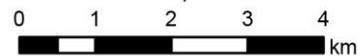


図 5.2-1

気象観測所及び
大気汚染常時監視測定局

注：図中の番号は、表 5.2-5 に対応。

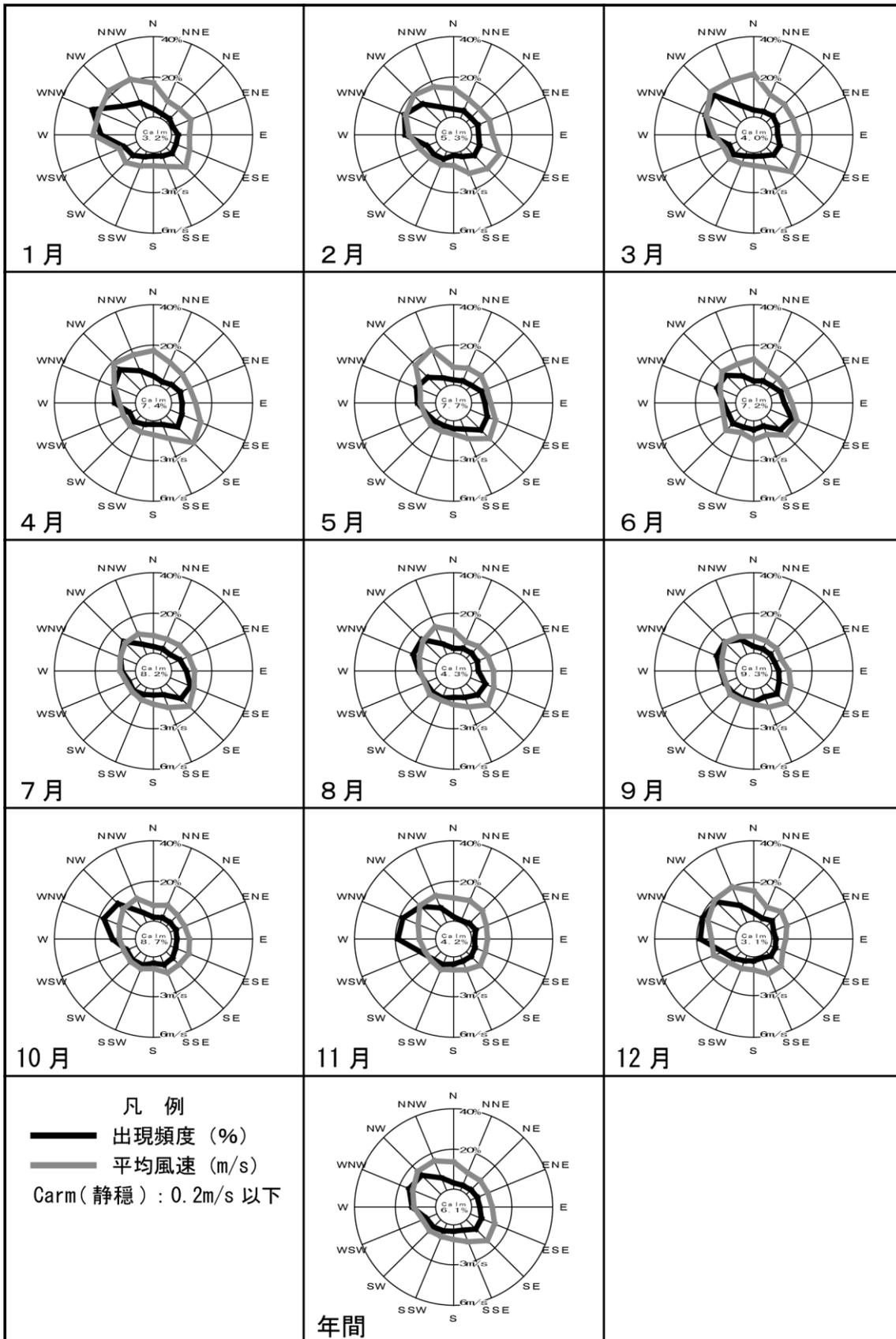


図 5.2-2 寄居地域気象観測所における月別風向頻度 (平成 30 年)

(2) 大気質

1) 大気質の状況

関係町村内の大気汚染常時監視測定局は、表 5.2-5及び図5.2-1に示したとおり、一般環境大気測定局3局、自動車排出ガス測定局1局が設置されている。

平成29年度における各項目の測定結果は表 5.2-6に示すとおりであり、光化学オキシダントの全測定局、炭化水素の寄居桜沢局で環境基準又は指針で非達成であった。

表 5.2-5 大気汚染常時監視測定局と測定項目

図中 番号	測定局名	測定場所	所在地	局種別	二酸化 硫黄	窒素酸 化物	一酸化 炭素	光化学 オキシ ダント	浮遊粒子 状物質	微小粒子 状物質	炭化 水素	ダイオキ シン類
①	寄居	寄居小学校	寄居町寄居 206	一般局	○	○		○	○	○	○	
②	小川	小川高等 学校	小川町大塚 1105	一般局		○		○	○	○		○
③	東秩父	堂平山	東秩父村白 石 601-2	一般局	○	○	○	○	○	○	○	
④	寄居桜沢	国有地	寄居町桜沢 234-3	自排局		○			○	○	○	

注：図中番号は、図 5.2-1 に対応。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成 31 年 3 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

「大気環境調査結果」（令和元年 8 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 5.2-6(1) 二酸化硫黄の測定結果（平成 29 年度）

図中番号	測定局名	年平均値	1 時間値が 0.10ppm を越えた時間	1 日平均値が 0.04ppm を越えた日数	日平均 値の 2% 除外値	日平均値 が 0.04ppm を越えた 日が 2 日 以上連続 したこと の有無	環境基 準の長 期的評 価によ る日平 均値が 0.04ppm を超え た日数	環境基準	
								長期的 評価	短期的 評価
		(ppm)	(時間)	(日)	(ppm)	(有・無)	(日)	(達成○・非達成×)	
①	寄居	0.001	0	0	0.002	無	0	○	○
③	東秩父	0.001 未満	0	0	0.002	無	0	○	○

注：図中番号は、図 5.2-1 に対応。

出典：「平成 29 年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成 31 年 3 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 5.2-6(2) 二酸化窒素の測定結果（平成29年度）

図中番号	測定局名	年平均値	日平均値 が 0.06ppm を超えた 日数	日平均値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日 数	日平均値 の年間 98%値	98%値評 価によ る日平 均値が 0.06ppm を超え た日数	環境基準
①	寄居	0.005	0	0	0.011	0	○
②	小川	0.007	0	0	0.016	0	○
③	東秩父	0.004	0	0	0.009	0	○
④	寄居桜沢	0.011	0	0	0.020	0	○

注：図中番号は、図 5.2-1 に対応。

出典：「平成 29 年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成 31 年 3 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 5.2-6(3) 一酸化炭素の測定結果（平成29年度）

図中番号	測定局名	年平均値	1 時間値の 最高値	日平均値の 2%除外値	日平均値が 10ppm を越えた日が 2 日 以上連続したこと の有無	環境基準	
						長期的 評価	短期的 評価
		(ppm)	(ppm)	(ppm)	(有・無)	(達成○・非達成×)	
③	東秩父	0.2	0.5	0.4	無	○	○

注：図中番号は、図 5.2-1 に対応。

出典：「平成 29 年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成 31 年 3 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 5.2-6(4) 光化学オキシダントの測定結果（平成29年度）

図中 番号	測定局名	昼間の1 時間値の 年平均値	昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた日数 と時間数		昼間の1時間値が 0.12ppm以上の日数と 時間数		環境基準 (達成○・非達成×)
		(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	
①	寄居	0.037	114	621	6	11	×
②	小川	0.035	115	605	5	10	×
③	東秩父	0.041	90	542	3	4	×

注：図中番号は、図 5.2-1 に対応。

出典：「平成 29 年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成 31 年 3 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 5.2-6(5) 浮遊粒子状物質の測定結果（平成29年度）

図中 番号	測定 局名	年平均 値	1時間値 が 0.20mg/ m ³ を超 えた時 間数	日平均 値が 0.10mg/ m ³ を超 えた日 数	日平均 値の2% 除外値	日平均 値が 0.10mg/ m ³ を超 えた日 が2日以 上連続 したこと の有無	環境基 準の長 期的評 価によ る日平 均値が 0.10 mg /m ³ を超 えた日 数	環境基準	
			(時間)	(日)	(mg/m ³)	(有・無)	(日)	長期的 評価	短期的 評価
①	寄居	0.015	0	0	0.033	無	0	○	○
②	小川	0.014	0	0	0.032	無	0	○	○
③	東秩父	0.011	0	0	0.028	無	0	○	○
④	寄居桜沢	0.015	0	0	0.033	無	0	○	○

注：図中番号は、図 5.2-1 に対応。

出典：「平成 29 年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成 31 年 3 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 5.2-6(6) 微小粒子状物質の測定結果（平成29年度）

図中 番号	測定局名	日平均値の 年平均値	日平均値の 年間98% 値	日平均値が 35 μg/m ³ を 超えた日数		環境基準	
		(μg/m ³)	(μg/m ³)	(日)	(%)	長期的評価	短期的評価
①	寄居	10.6	24.7	0	0.0	○	○
②	小川	10.8	25.6	0	0.0	○	○
③	東秩父	8.0	22.1	0	0.0	○	○
④	寄居桜沢	12.8	29.1	0	0.0	—	

注1：図中番号は、図 5.2-1 に対応。

2：環境基準の欄の「—」は、有効測定局ではなく環境基準の評価を行っていないことを示す。

出典：「平成 29 年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成 31 年 3 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 5.2-6(7) 炭化水素の測定結果（平成29年度）

図中番号	測定局名	年平均値	6～9 時 の測定 日数	6～9 時 における 年平均 値	6～9 時の 3 時間平 均値が 0.20ppmC を超えた 日数	6～9 時の 3 時間平 均値が 0.31ppmC を超えた 日数	指針との比較 (達成○・非達成×)
		(ppmC)	(日)	(ppmC)	(日)	(日)	
①	寄居	0.06	313	0.05	0	0	○
③	東秩父	0.04	364	0.03	0	0	○
④	寄居桜沢	0.09	347	0.08	3	1	×

注：図中番号は、図 5.2-1 に対応。

出典：「平成 29 年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成 31 年 3 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 5.2-6(8) ダイオキシン類の測定結果（平成30年度）

調査地点		調査結果 (pg-TEQ/m ³)			環境基準 (pg-TEQ/m ³)
図中番号	測定局名	夏季	冬季	年平均値	
②	小川	0.0085	0.014	0.011	0.6 以下

注：図中番号は、図 5.2-1 に対応。

出典：「大気環境調査結果」（令和元年 8 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

2) 苦情の状況

平成30年度における関係町村の公害苦情件数は、表 5.2-7に示すとおりである。

計画区域のある小川町において、大気汚染に関する公害苦情は10件であった。

表 5.2-7 公害苦情件数（平成 30 年度）

町村名	典型七公害							その他	合計
	大気 汚染	水質 汚濁	土壌 汚染	騒音	振動	地盤 沈下	悪臭		
小川町	10	0	0	0	0	0	1	30	41
ときがわ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東秩父村	0	1	0	13	0	0	0	0	14
寄居町	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注 1：ときがわ町は件数の取りまとめを行っていない。

注 2：寄居町はホームページ等での件数の公表を行っていない。

出典：小川町環境農林課ヒアリング

ときがわ町建設環境課ヒアリング

東秩父村保健衛生課ヒアリング

寄居町生活環境エコタウン課ヒアリング

(3) 騒音

1) 騒音の状況

計画区域及びその周辺における平成29年度の道路交通騒音の点的評価結果は表 5.2-8に、面的評価結果は表 5.2-9に、道路交通騒音の調査地点は図 5.2-4に示すとおりである。

点的評価では、4地点中2地点で環境基準を超過していた。

また、面的評価では、一般国道254号線において昼間、夜間ともに基準値を超過する戸数が存在する。

表 5.2-8 道路交通騒音の点的評価結果（平成 29 年度）

図中番号	路線名	測定地点の住所	環境基準類型	車線数合計	等価騒音レベル(dB)				環境基準適合状況
					昼間	環境基準達成	夜間	環境基準達成	
1	一般国道 254 号	小川町小川 344	B	2	64	○ (70)	57	○ (65)	○
2	一般国道 254 号	小川町勝呂 799	B	2	69	○ (70)	67	× (65)	×
3	一般国道 254 号 (バイパス)	小川町上横田 966	B	2	69	○ (70)	66	× (65)	×
4	県道熊谷小川秩父線	小川町腰越 43	C	2	64	○ (70)	57	○ (65)	○

注1：図中番号は、図 5.2-4 に対応。

2：環境基準達成欄の () 内の数値は当該地点における環境基準値を示す。

出典：「平成 29 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（平成 31 年 4 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

表 5.2-9 道路交通騒音の面的評価結果（平成 29 年度）

図中番号	評価対象道路	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価の区延間長 (km)	測定地点における等価騒音レベル (dB)		評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間とも基準値以下 b (戸)	昼間のみ基準値以下 c (戸)	夜間のみ基準値以下 d (戸)	昼間・夜間とも基準値超過 e (戸)
					昼間	夜間					
①	一般国道 254 号	比企郡小川町大字小川	比企郡小川町大字小川	0.8	—	—	57	54	0	0	3
②	一般国道 254 号	比企郡小川町大字小川	比企郡小川町大字小川	0.5	—	—	110	110	0	0	0
③	一般国道 254 号	比企郡小川町大字小川	比企郡小川町大字小川	0.4	66	60	172	139	0	33	0
④	一般国道 254 号	大里郡寄居町大字富田	大里郡寄居町大字露梨子	3.3	72	69	198	137	60	0	1

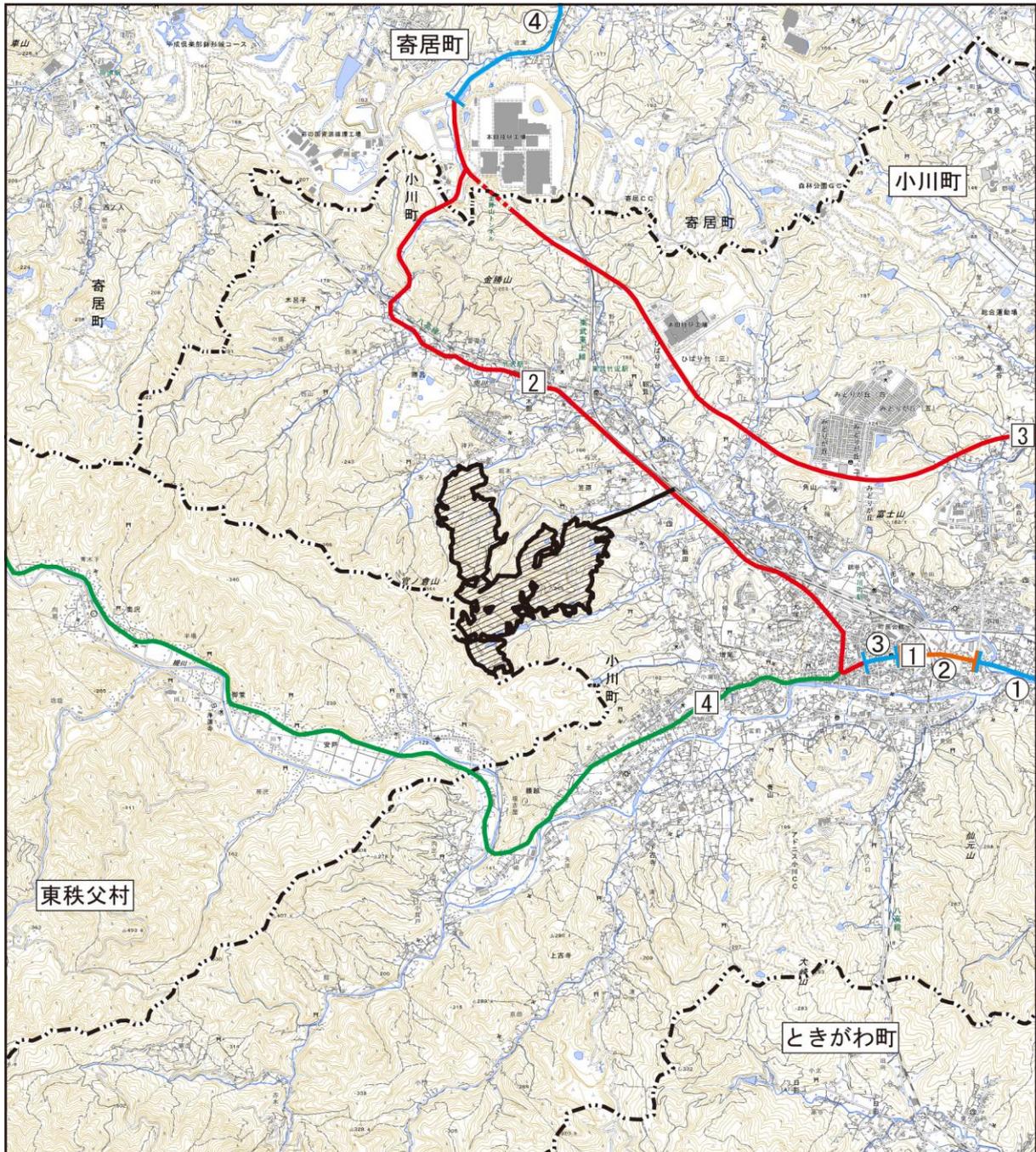
注：図中番号は、図 5.2-4 に対応。

出典：「平成 29 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（平成 31 年 4 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

2) 苦情の状況

計画区域のある小川町において、平成30年度における騒音に関する公害苦情はなかった。

(表 5.2-7参照)



凡 例

-  計画区域及び関連施設
-  町村界
-  騒音(点的評価)調査地点
-  騒音(面的評価)調査地点

N



1:50,000

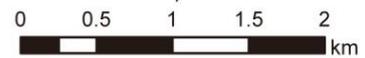


図 5.2-4

道路交通騒音調査地点

注：図中の番号は、表 5.2-8 に対応。

出典：「平成 27 年度一般交通量図」

(平成 29 年 3 月、埼玉県県土整備部県土整備政策課)

(4) 振動

1) 振動の状況

計画区域及びその周辺において、平成29年度の道路交通振動の調査について公表された測定結果はない。

2) 苦情の状況

計画区域のある小川町において、平成30年度における振動に関する公害苦情はなかった（表 5.2-7参照）。

(5) 悪臭

1) 悪臭の状況

計画区域及びその周辺において、平成29年度の悪臭の調査について公表された測定結果はない。

2) 苦情の状況

計画区域のある小川町において、平成30年度における悪臭に関する公害苦情件数は1件であった（表 5.2-7参照）。

5.2.2 水質、底質、水象その他の水に係る環境の状況

(1) 水質

1) 河川

計画区域及びその周辺における主な河川の公共用水域の水質調査地点は、埼玉県、小川町及び東秩父村で2河川9測定地点行われており、その位置は図 5.2-5に示すとおりである。測定結果は表 5.2-10及び表 5.2-11に示すとおりである。

表 5.2-10(1) 河川の水質測定結果（埼玉県調査地点（平成 29 年度））

水域名		槻川					
地点名		①兜川合流点前（B・生物B）					基準値
		最小値	最大値	平均値	75%値	x / y	
生活環境項目	pH	7.8	9.1	8.5	8.7	4/12	6.5 以上 8.5 以下
	DO (mg/L)	8.8	15	11	9.4	0/12	5mg/L 以上
	BOD (mg/L)	<0.5	2.4	1.2	1.5	0/12	3mg/L 以下
	COD (mg/L)	1.3	3.3	2.6	3.1	12	-
	SS (mg/L)	<1	3	2	2	0/12	25mg/L 以下
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	230	33000	6900	7900	4/12	5,000MPN/100mL 以下
	全窒素 (mg/L)	1.2	1.7	1.5	1.6	4	-
	全燐 (mg/L)	0.039	0.10	0.075	0.096	4	-
	全亜鉛 (mg/L)	<0.001	0.006	0.003	0.004	0/12	0.03mg/L 以下
	ノニルフェノール (mg/L)	<0.00006	0.00009	0.00007	0.00008	0/6	0.002mg/L 以下
	LAS (mg/L)	0.0025	0.018	0.0093	0.014	0/12	0.05mg/L 以下
	カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0/4	0.003 mg/L 以下
	健康項目	全シアン (mg/L)	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	0/4
鉛 (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/4	0.01 mg/L 以下
六価クロム (mg/L)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0/4	0.05 mg/L 以下
砒素 (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/4	0.01 mg/L 以下
総水銀 (mg/L)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0/4	0.0005 mg/L 以下
PCB (mg/L)		N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	0/2	検出されないこと
ジクロロメタン (mg/L)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0/2	0.02 mg/L 以下
四塩化炭素 (mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.002 mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン (mg/L)		<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0/2	0.004 mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0/2	0.1 mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0/2	0.04 mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0/2	1 mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0/2	0.006 mg/L 以下
トリクロロエチレン (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/2	0.01 mg/L 以下
テトラクロロエチレン (mg/L)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0/2	0.01 mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.002 mg/L 以下
チウラム (mg/L)		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0/2	0.006 mg/L 以下
シマジン (mg/L)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0/2	0.003 mg/L 以下
チオベンカルブ (mg/L)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0/2	0.02 mg/L 以下
ベンゼン (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/2	0.01 mg/L 以下
セレン (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/2	0.01 mg/L 以下
硝酸・亜硝酸性窒素 (mg/L)		0.9	1.8	1.3	1.5	0/12	10 mg/L 以下
ふっ素 (mg/L)		<0.02	0.08	0.04	0.04	0/12	0.8 mg/L 以下
ほう素 (mg/L)	<0.02	0.08	0.03	0.03	0/12	1 mg/L 以下	
1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0/2	0.05 mg/L 以下	

注1：表中の番号は図 5.2-5 に対応する。

2：地点名の（）内は類型を示す。

3：「x」は環境基準に適合しない日数を示す。「y」は総測定日数を示す。

出典：「平成 29 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（平成 31 年 3 月、埼玉県環境部水環境課）

表 5.2-10(2) 河川の水質測定結果（小川町調査地点（生活環境項目・平成30年度））

河川名		槻川					兜川		基準値
地点名	②渡戸前 (B)	③館川合 流点下流 (B)	④矢岸橋 上流 (B)	⑤萬世橋 上流 (B)	⑥日の出 橋上流 (B)	⑦北川橋 上流 (-)	⑧上八幡 橋上流 (-)		
pH	—	8.5	8.4	8.2	7.9	7.8	7.8	8.2	6.5~8.5
BOD	(mg/L)	0.7	0.6	0.7	0.7	0.8	1.6	1.5	3以下
SS	(mg/L)	1	1	1	1	2	4	4	25以下

注1：表中の番号は図 5.2-5 に対応する。

2：値は年間平均値。

3：地点名の () 内は類型を示す。

出典：「広報おがわ 令和元年5月号」（令和元年5月、小川町役場総務課）

表 5.2-10(3) 河川の水質測定結果（東秩父村調査地点（生活環境項目・平成30年度））

水域名		槻川					
地点名		⑨萩平川合流点下流 (B・生物B)					基準値
		最小値	最大値	平均値	75%値	x/y	
生活環境項目	pH	7.8	8.8	8.4	8.4	1/4	6.5以上8.5以下
	DO (mg/L)	8.5	14.0	10.4	10.1	0/4	5mg/L以上
	BOD (mg/L)	0.7	1.0	0.9	1.0	0/4	3mg/L以下
	SS (mg/L)	<1	1	1	1	0/4	25mg/L以下
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	220	2200	990	1300	0/4	5,000MPN/100mL以下
	全窒素 (mg/L)	0.66	1.0	0.90	0.97	4	—
	全磷 (mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	4	—
	全亜鉛 (mg/L)	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0/4	0.03mg/L以下
	ノニルフェノール (mg/L)	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0/4	0.002mg/L以下
	L A S (mg/L)	<0.0006	0.0020	0.0011	0.0011	0/4	0.05mg/L以下

注1：表中の番号は図 5.2-5 に対応する。

2：地点名の () 内は類型を示す。

3：「x」は環境基準に適合しない日数を示す。「y」は総測定日数を示す。

出典：東秩父村保健衛生課ヒアリング

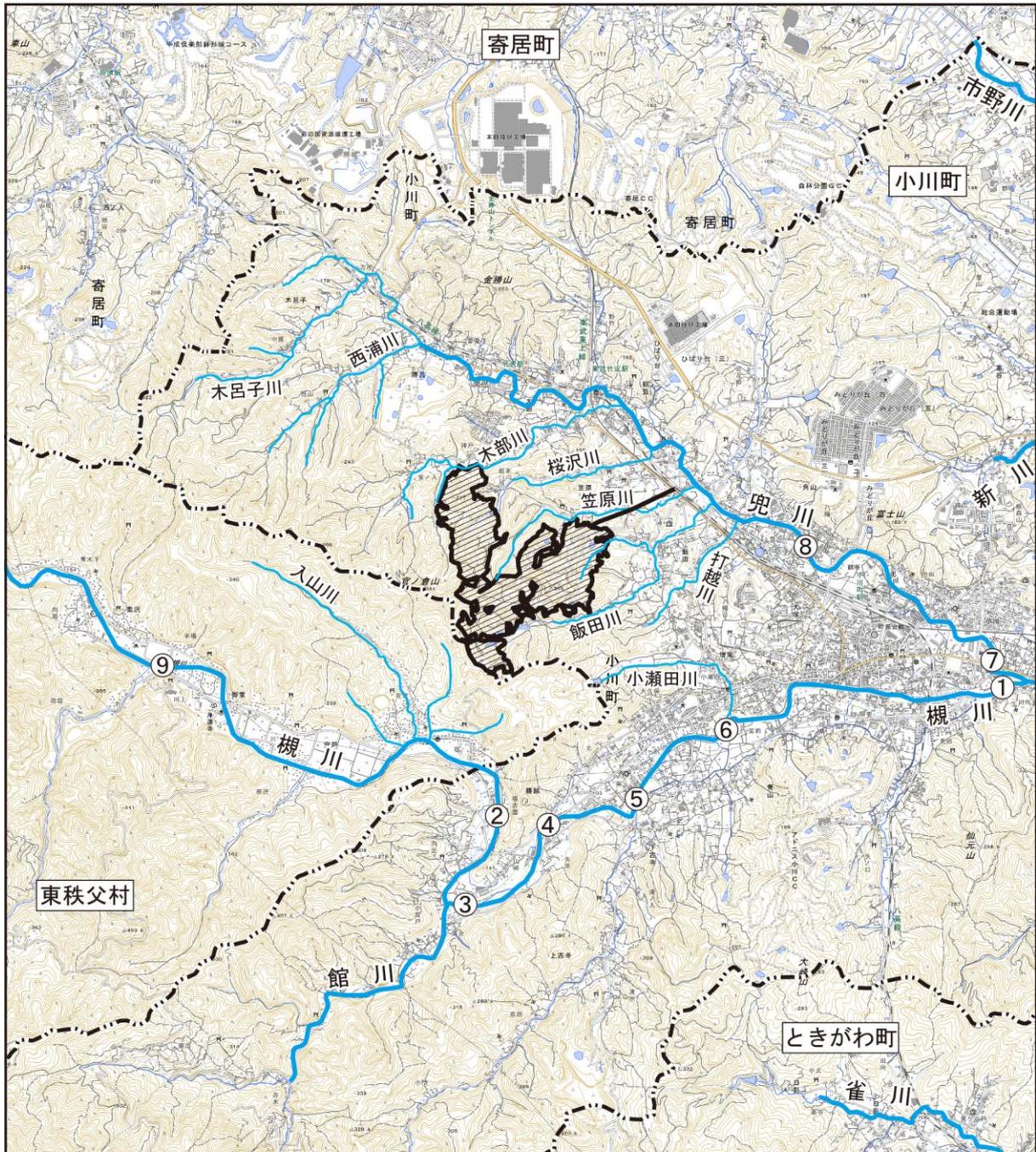
表 5.2-11 河川の水質測定結果（ダイオキシン類(平成29年度)）

水域名	地点名	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)
槻川	①兜川合流点前	0.014	1

注：表中の番号は図 5.2-5 に対応する。

出典：「平成29年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」

(平成31年3月、埼玉県環境部水環境課)



凡 例

-  計画区域及び関連施設
-  町村界
-  一級河川
-  河川
- ①～⑨ 水質調査地点



1:50,000



図 5.2-5 水質測定地点位置図

注：図中の番号は表 5.2-10、表 5.2-11、表 5.2-13 に対応する。

2) 地下水

関係町村における平成29年度の地下水の調査結果は、表 5.2-12に示すとおりである。

関係町村では5地点で概況調査が、4地点で継続監視調査が行われている。

表 5.2-12(1) 地下水の調査結果（概況調査・平成29年度）

区分	調査地点数	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		ふっ素		ほう素	
		検出地点	基準超過地点	検出地点	基準超過地点	検出地点	基準超過地点
小川町	2	2	—	2	—	2	—
ときがわ町	1	1	—	1	—	0	—
東秩父村	0	—	—	—	—	—	—
寄居町	2	2	—	1	—	1	—
地下水環境 基準値	(mg/L)	10 以下		0.8 以下		1 以下	

注：「—」は検出されなかったことを示す。

出典：「平成29年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（平成31年3月、埼玉県環境部水環境課）

表 5.2-12(2) 地下水の調査結果（継続監視調査・平成29年度）

町名	地区名	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)
地下水環境基準値		10 以下
寄居町	赤浜	24
	用土	5.7
	用土	7.8
	寄居	7.1

注：太数字は基準値超過を示す。

出典：「平成29年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（平成31年3月、埼玉県環境部水環境課）

3) 苦情の件数

計画区域のある小川町において、平成30年度における水質汚濁に関する公害苦情はなかった（表 5.2-7参照）。

(2) 底質

平成29年度において計画区域及びその周辺では、ダイオキシン類について実施されており、調査結果は表 5.2-13に示すとおりであり、環境基準を下回っている。

表 5.2-13 河川の底質測定結果（ダイオキシン類（平成29年度））

水域名	地点名	調査結果 (pg-TEQ/g)	環境基準 (pg-TEQ/g)
槻川	①兜川合流点前	0.18	150

注：表中の番号は図 5.2-5 に対応する。

出典：「平成29年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（平成31年4月、埼玉県環境部水環境課）

5.2.3 土壌及び地盤の状況

(1) 土壌

1) 農用地における土壌汚染

埼玉県では、農用地の土壌汚染状況を把握するため、銅、砒素、カドミウムについての調査を昭和46年から5年に一度行っており、調査結果は表 5.2-14に示すとおりであり、いずれの項目も環境基準を達成している。

表 5.2-14 農用地の土壌汚染状況調査の分析測定結果

単位：mg/kg

調査年度		調査地点の分析測定結果											
		土壌中（乾物）								玄米中（現物）			
		銅（基準値 125mg/kg）				砒素（基準値 15mg/kg）				カドミウム （基準値 0.4mg/kg）			
		最高	最低	平均	調査地点	最高	最低	平均	調査地点	最高	最低	平均	調査地点
一巡目	(S54~57) 全県	32.3	0.1	11.3	90	11.8	tr	1.9	90	0.37	0.02	0.11	46
二巡目	(S59~62) 全県	23.6	0.1	9.0	90	5.3	tr	1.4	90	0.30	nd	0.09	48
三巡目	(H元~4) 全県	21.6	0.3	9.3	90	8.0	tr	1.8	90	0.38	tr	0.09	46
四巡目	(H6~9) 全県	28.7	0.2	9.4	87	13.1	tr	2.2	87	0.30	tr	0.06	31
五巡目	(H11~14) 全県	30.8	0.1	11.2	180	11.3	0.1	2.0	180	0.28	tr	0.09	50
六巡目	(H16~19) 全県	21.5	tr	8.9	180	6.4	0.1	1.7	180	0.31	tr	0.06	47
七巡目	(H21~24) 全県	21.7	tr	9.5	165	7.9	tr	1.7	165	0.22	tr	0.03	43
八巡目	(H26~29) 全県	25.5	0.1	9.1	118	10.5	0.2	2.5	118	0.29	tr	0.05	31

注1：ndは検出限界以下を、trは極微量検出を示す。

2：県農業技術研究センターの分析測定結果で、昭和58年、63年、平成5年、10年、15年、20年、25年は各調査巡の取りまとめ年である。

出典：「平成30年版埼玉県環境白書」（平成30年12月、環境部環境政策課）

2) ダイオキシン類

埼玉県では、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく土壌の常時監視測定を行っている。

平成21年度から平成30年度の関係町村における常時監視結果は表 5.2-15に示すとおりであり、いずれも環境基準を達成している。

表 5.2-15 土壌中のダイオキシン類の常時監視結果（平成 21 年度～平成 30 年度）

単位：pg-TEQ/g

調査区分	調査年度	調査地点		調査結果
一般環境把握調査	平成 22 年	ときがわ町	明覚小学校	0.0003
			五明地域運動場	10

注：環境基準は 1,000pg-TEQ/g 以下である。

出典：「土壌常時監視結果ダイオキシン類」（令和元年 7 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

3) 土壌の分布状況

計画区域周辺の土壌の分布状況は、図 5.2-6に示すとおりである。

計画区域一帯は、主として山地、丘陵地に分布する土壌（日野沢 1 統・日野沢 2 統・日野沢 3 統）、主として台地、低地に分布する土壌（三沢統）が分布している。

4) 苦情の状況

計画区域のある小川町において、平成30年度における土壌汚染に関する公害苦情はなかった（表 5.2-7参照）。



凡例

土壤図【寄居】(図面左部)

主として山地、丘陵地に分布する土壤

- Ki 金嶽山1統
- Ki 金嶽山2統
- Hi 日野沢1統
- Hi 日野沢2統
- Hi 日野沢3統
- Ni 長瀬1統
- Ni 長瀬2a統
- Ni 長瀬3統
- Ms 長尾根2統
- Mi 三ヶ山1統
- Ho 宝登山統
- Ku 櫛挽統
- Ng 野上統
- Hi 鉢形統
- Ms 三沢統
- Ni 葦谷戸統
- Oh 男衾統
- Mi 三ヶ山2統
- Ta 槻川統

土壤図【熊谷】(図面右部)

計画区域及び関連施設

- 厚層黒ボク土壤
- 大竹統
- 黒ボク土壤
- 大竹統
- 下大谷統
- 将軍沢統
- 黒ボクグライ土壤
- 大竹統
- 淡色黒ボク土壤
- 児玉統
- 杉の森統
- 千代統
- 乾性褐色森林土壤
- 三ヶ山1統
- 長瀬1統
- 高根山統
- 褐色森林土壤
- 滑川統
- 長瀬1統
- 金生山2統
- 青山統
- 下里統
- 広野統
- 褐色低地土壤
- 新戒統
- 勅使河原統
- 細粒灰色低地土壤
- 平塚統
- 福田統
- 灰色低地土壤
- 長瀬統
- 山田統
- その他
- DID区分域

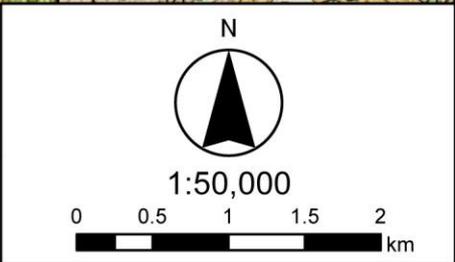


図 5.2-6 土壤図

出典：「土地分類調査報告書(寄居)」(埼玉県HP)
 「土地分類調査報告書(熊谷)」(埼玉県HP)

(2) 地盤

1) 地盤沈下の状況

関係町村においては、地盤の精密水準測量調査が行われており、調査結果は表 5.2-16に、調査地点は図 5.2-7に示すとおりである。

過去5年間の地盤標高の変動量は-2.2～-0.1mmの範囲で沈下している。

表 5.2-16 地盤標高の変動量の推移

町名	基準番号	所在地		調査開始年月日	各年別変動量(mm)					過去5年間の変動量(mm)	調査開始年からの変動量(mm)	平成31.1.1の真高(T.P.)(m)
		町(字)名	目標		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年			
小川町	56-03	小川 377	小川小学校	57.1.1	-2.2	-0.4	-0.1	-1.2	-0.1	-4.0	-34.6	86.4871

注1：基準番号は図 5.2-7 に対応する。

2：各年1月1日の値を前年値と比較した。

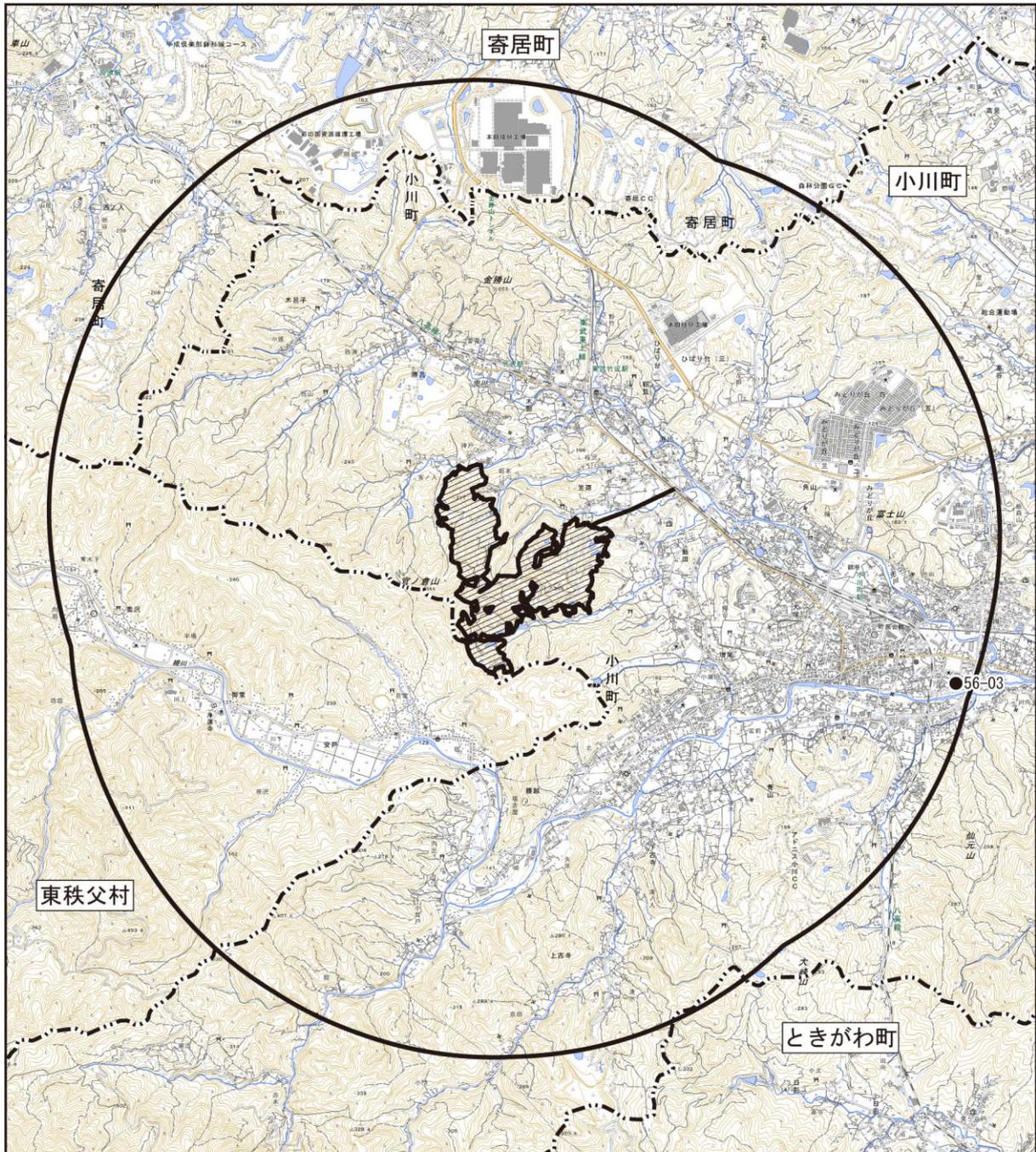
3：変動量は、-記号が沈下を、+記号が上昇を表す。

4：過去5年間の変動量、及び、調査開始年からの変動量は、各年別変動量の累計を表す。

出典：「平成30年度水準測量成果表等について」（令和元年8月、埼玉県環境部水環境課 HP）

2) 苦情の状況

計画区域のある小川町において、平成30年度における地盤沈下に関する公害苦情はなかった（表 5.2-7参照）。



凡 例

-  計画区域及び関連施設
-  町村界
-  計画区域外周より半径3.0km
-  水準点

N



1:50,000

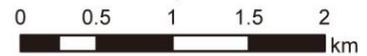


図 5.2-7

地盤標高の変動量
調査地点位置図

注：図中の番号は表 5.2-16 に対応する。

5.2.4 地形及び地質の状況

(1) 地形の状況

計画区域及びその周辺の地形分類は、図 5.2-8に示すとおりである。

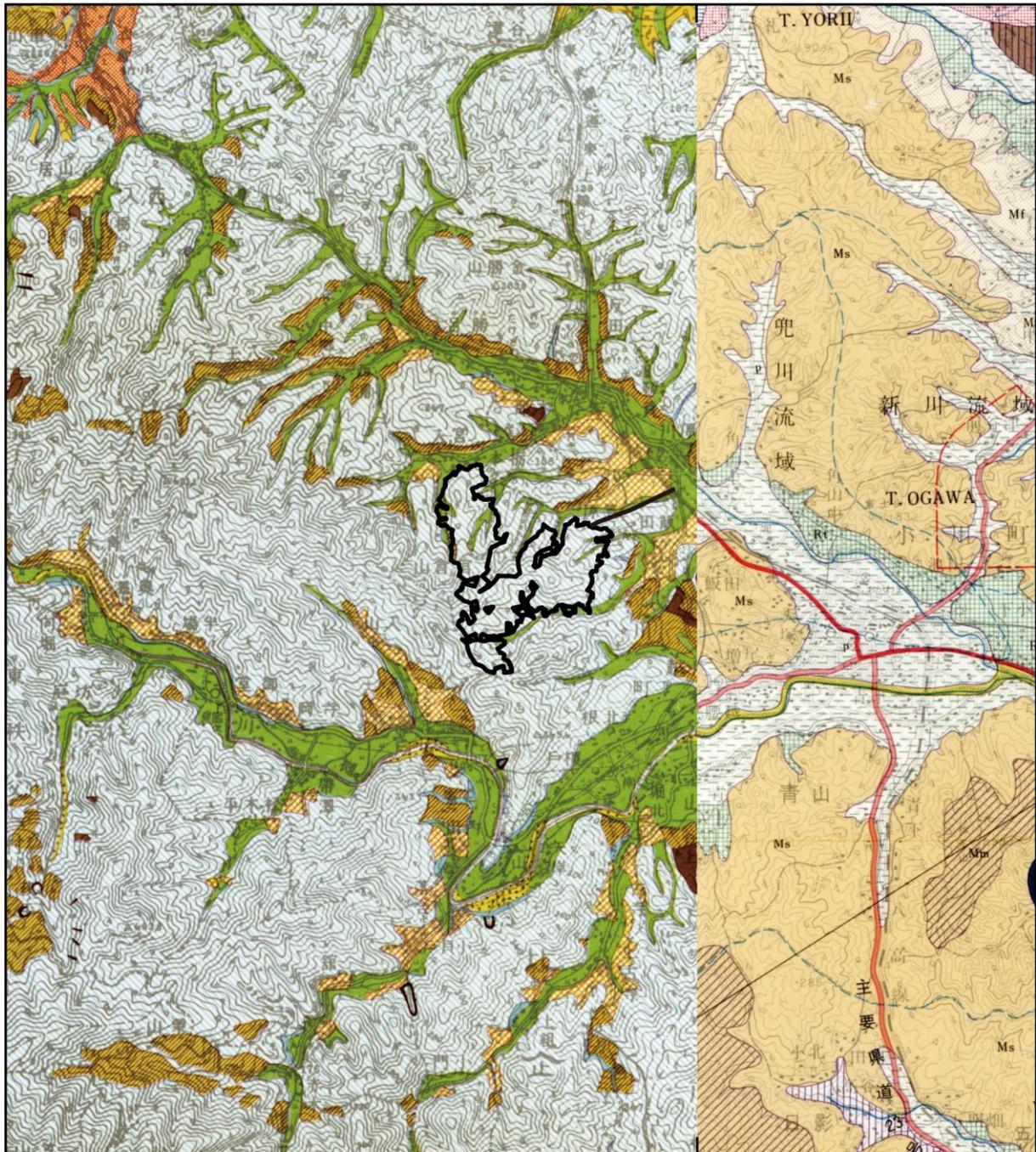
計画区域及びその周辺の地形は、槻川及び兜川にそって谷底平野があり、その周辺に河原岩石河原、台地及び段丘などとなっている。

計画区域は、急斜面、谷底平野が位置している。

(2) 地質の状況

計画区域及びその周辺の表層地質は、図 5.2-9に示すとおりである。

計画区域及びその周辺の地質は、未固結堆積物及び固結堆積物となっており、計画区域は礫岩、砂岩・頁岩互層、輝緑凝灰岩、泥岩または頁岩、石灰岩などが堆積している。



凡 例

地形分類図【寄居】(図面左部)

- | | |
|-----------------------|-------|
| 山地及び丘陵地 | 低地 |
| 山頂緩斜面及び山腹緩斜面 | 谷底平野 |
| 山麓緩斜面 | 河原石河原 |
| 急斜面 | 旧河道 |
| 台地及び段丘 | 崩壊地形 |
| GtI ⁺ (上位) | 崖錐 |
| GtI(上位) | |
| GtI ⁺ (中位) | |
| GtII(中位) | |
| GtIII(下位) | |

計画区域及び関連施設

地形分類図【熊谷】(図面右部)

- | | |
|---------------|-----------|
| 山地 | 低地 |
| Ms 中起伏山地 | 谷底平野 |
| Ms 小起伏山地 | その他 |
| MI 山麓 | 麓斜面および崖錐 |
| 丘陵地 | 崖 |
| Ms 丘陵地 | 旧流路跡(旧河道) |
| 台地 | 人工改变地 |
| Ap 火山灰台地 | |
| Rx 砂礫台地(海岸段丘) | |

出典：「土地分類調査報告書(寄居)」(埼玉県HP)
 「土地分類調査報告書(熊谷)」(埼玉県HP)



1:50,000

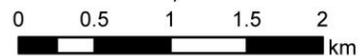
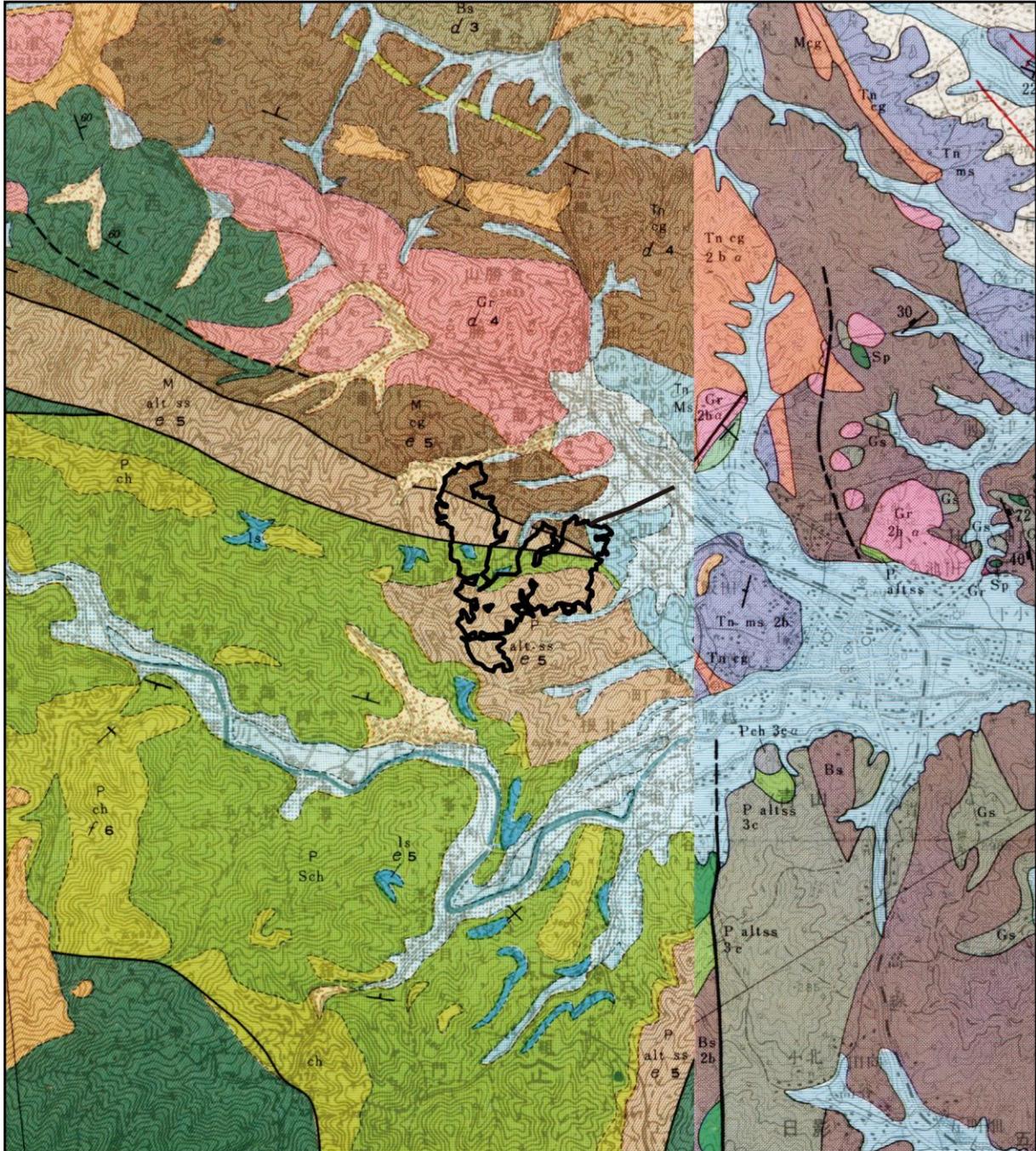


図 5.2-8 地形分類図



凡 例

計画区域及び関連施設

表層地質図【寄居】(図面左部)

- | | |
|---------|-------|
| 未固結堆積物 | 火山性岩石 |
| 礫 | 口-U |
| 泥 | 深成岩 |
| 碎屑物 | 花崗質岩 |
| 固結堆積物 | 変成岩 |
| 礫岩 | 緑色片岩 |
| 泥岩または頁岩 | 黒色片岩 |
| 砂岩・頁岩互層 | |
| 珪質岩 | |
| 輝緑凝灰岩 | |
| 石灰岩 | |

表層地質図【熊谷】(図面右部)

- | | |
|-----------|--------|
| 未固結堆積物 | 火山性岩石 |
| 泥質堆積物 | 口-U |
| 半固結-固結堆積物 | 深成岩 |
| シルト砂礫の互層 | 花崗岩質岩石 |
| 固結堆積物 | 蛇紋岩 |
| 礫岩 | 変性岩 |
| 砂岩 | 緑色片岩 |
| 泥岩 | 黒色片岩 |
| 砂岩・頁岩互層 | |
| 珪質岩 | |
| 輝緑凝灰岩 | |



1:50,000



図 5.2-9 表層地質図

出典：「土地分類調査報告書（寄居）」（埼玉県 HP）
 「土地分類調査報告書（熊谷）」（埼玉県 HP）

5.2.5 動物の生息・種類、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況

(1) 動物

1) 動物相の状況

計画区域周辺の動物の確認記録の概要は、表 5.2-17に示すとおりである。

計画区域の位置する小川町では、哺乳類3種、両生類1種、爬虫類1種、淡水魚類15種、昆虫類84種、鳥類34種が記録されている。

表 5.2-17 計画区域周辺における動物の確認記録

分類	町村	主な確認種
哺乳類	小川町	ハクビシン、タヌキ、キツネの3種
	ときがわ町	タヌキ、キツネ、イノシシ、ニホンリス、ニホンジカの5種
	東秩父村	タヌキ、キツネ、イノシシ、ニホンリス、ニホンジカ、ノウサギ、テンの7種
	寄居町	ハクビシン、タヌキ、キツネ、イノシシ、ノウサギ、イタチの6種
両生類	小川町	トウキョウサンショウウオの1種
	ときがわ町	—
	東秩父村	—
	寄居町	トウキョウサンショウウオの1種
爬虫類	小川町	ヤマカガシの1種
	ときがわ町	—
	東秩父村	—
	寄居町	ヤマカガシの1種
淡水魚類	小川町	アブラハヤ、ウグイ、オイカワ、オオクチバスなど15種
	ときがわ町	アブラハヤ、ウグイ、エゾイワナ、オイカワなど28種
	東秩父村	エゾイワナの1種
	寄居町	カワムツB型、ブルーギルの2種
貝類	小川町	—
	ときがわ町	—
	東秩父村	—
	寄居町	ウスカワマイマイ、オオタキコギセル、オカチョウジガイなど14種
昆虫	小川町	アゲハチョウ科、イトトンボ科、クワガタムシ科、セミ科など84種
	ときがわ町	アゲハチョウ科、クワガタムシ科、セミ科、ハンミョウ科など53種
	東秩父村	アゲハチョウ科、クワガタムシ科、セミ科、アメンボ科など91種
	寄居町	トンボ科、セミ科、クワガタムシ科、シジミチョウ科など63種
鳥類	小川町	アトリ科、ウグイス科、エナガ科など34種
	ときがわ町	アトリ科、ウグイス科、カイツブリ科など18種
	東秩父村	アトリ科、ウグイス科、エナガ科など44種
	寄居町	アトリ科、イワヒバリ科、ウグイス科など78種

注1：調査実施以降に町村の町勢施行・合併等が行われていたため、現町名で集計した。

2：表中の「—」は記録なしを示す。

出典：「第3回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）【鳥類】

「第5回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・貝類・昆虫類】

2) 貴重な動物の分布状況

「第3回自然環境保全基礎調査」（鳥類）、「第5回自然環境保全基礎調査」（哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・貝類・昆虫類）において関係町村で確認された種及び「埼玉県レッドデータブック動物編2018」において記載されている地帯区分（低山帯及び台地・丘陵帯）において確認された種のうち表 5.2-18に該当する種は、表 5.2-19～表 5.2-26に示すとおりである。

表 5.2-18 貴重な動物種の選定基準

No.	出典	基準
①	「文化財保護法」 (昭和 25 年 5 月、法律第 214 号)	特天：特別天然記念物
		天：天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年 6 月、法律第 75 号)	国内：国内希少野生動植物種
		国際：国際希少野生動植物種
③	「環境省レッドリスト 2019」 (平成 31 年 1 月、環境省)	EX：絶滅
		EW：野生絶滅
		CR+EN：絶滅危惧 I 類
		CR：絶滅危惧 I A 類
		EN：絶滅危惧 I B 類
		VU：絶滅危惧 II 類
		NT：準絶滅危惧
		DD：情報不足
④	「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」 (平成 30 年 3 月、埼玉県)	LP：絶滅のおそれのある地域個体群
		EX：絶滅
		EW：野生絶滅
		CR+EN：絶滅危惧 I 類
		CR：絶滅危惧 IA 類
		EN：絶滅危惧 IB 類
		VU：絶滅危惧 II 類
		NT：準絶滅危惧
		NT1：準絶滅危惧 1 型
		NT2：準絶滅危惧 2 型
		DD：情報不足
LP：地域個体群		
RT：地帯別危惧		

表 5.2-19(1) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（鳥類（繁殖鳥））

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県評価	低山帯	台地・丘陵帯
鳥類 (繁殖鳥)	キジ科	ヤマドリ				VU	VU	VU
	カモ科	オシドリ			DD	EN	EN	
	ハト科	アオバト				RT	LP	
	サギ科	ヨシゴイ			NT	VU		EN
	サギ科	ミゾゴイ			VU	EN	EN	CR
	サギ科	ササゴイ				EN	EN	EN
	サギ科	チュウサギ			NT	VU	VU	VU
	サギ科	コサギ				NT2		NT2
	クイナ科	ヒクイナ			NT	CR	DD	CR
	クイナ科	バン				NT2		VU
	カッコウ科	ジュウイチ				LP	LP	
	カッコウ科	ホトトギス				RT	LP	
	カッコウ科	ツツドリ				LP	LP	
	カッコウ科	カッコウ				NT2	NT2	NT2
	ヨタカ科	ヨタカ			NT	VU	VU	VU
	アマツバメ科	ヒメアマツバメ				LP		LP
	チドリ科	イカルチドリ				NT1	NT1	NT1
	チドリ科	シロチドリ			VU	LP		LP
	シギ科	オオジシギ			NT	CR		CR
	シギ科	イソシギ				VU		NT2
	タマシギ科	タマシギ			VU	CR		CR
	カモメ科	コアジサシ			VU	CR		CR
	タカ科	ハチクマ			NT	EN	DD	DD
	タカ科	トビ				DD		DD
	タカ科	ツミ				NT2	DD	NT2
	タカ科	ハイタカ			NT	DD	DD	
	タカ科	オオタカ			NT	VU	VU	VU
	タカ科	サシバ			VU	CR	VU	CR
	タカ科	ノスリ				NT2	NT2	DD
	タカ科	クマタカ		国内	EN	EN	CR	
	フクロウ科	オオコノハズク				DD	DD	EX
	フクロウ科	フクロウ				RT	DD	VU
	フクロウ科	アオバズク				NT2	DD	NT2
	カワセミ科	アカショウビン				CR	CR	EX
	カワセミ科	ヤマセミ				NT2	VU	EN
	ブッポウソウ科	ブッポウソウ			EN	CR	CR	
	ハヤブサ科	チョウゲンボウ				NT2	EX	VU
	サンショウクイ科	サンショウクイ			VU	EN	EN	CR
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ				EN	EN	CR
	モズ科	チゴモズ			CR	CR		CR
	モズ科	アカモズ			EN	CR		CR
	シジュウカラ科	コガラ				NT2	NT2	
	シジュウカラ科	ヤマガラ				RT		NT2
	シジュウカラ科	ヒガラ				RT		VU
	ツバメ科	コシアカツバメ				DD		DD
	ウグイス科	ウグイス				RT	NT2	
	ウグイス科	ヤブサメ				NT2	NT2	VU
ムシクイ科	メボソムシクイ				NT2	NT2		
ムシクイ科	エゾムシクイ				NT2	NT2		
ムシクイ科	センダイムシクイ				NT2	NT2	CR	
ヨシキリ科	オオヨシキリ				NT2		NT2	
ヨシキリ科	コヨシキリ				EN		EN	
ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ				NT2	NT2		
ムクドリ科	コムクドリ				DD	DD		

注1：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第3回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）【鳥類】
「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成30年3月、埼玉県）

表 5.2-19(2) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（鳥類（繁殖鳥））

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県評価	低山帯	台地・丘陵帯
鳥類 (繁殖鳥)	ヒタキ科	トラツグミ				NT2	NT2	VU
	ヒタキ科	クロツグミ				NT2	NT2	VU
	ヒタキ科	アカハラ				NT2	NT2	
	ヒタキ科	コマドリ				NT1	NT1	
	ヒタキ科	コルリ				NT1	NT1	
	ヒタキ科	サメビタキ				NT2	NT2	
	ヒタキ科	コサメビタキ				EN	NT2	CR
	ヒタキ科	キビタキ				RT		NT1
	ヒタキ科	オオルリ				RT		CR
	ホオジロ科	ホオジロ				RT		NT2
ホオジロ科	ホオアカ				CR		CR	

注1：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第3回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）【鳥類】
「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-19(3) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（鳥類（越冬鳥））

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県評価	低山帯	台地・丘陵帯
鳥類 (越冬鳥)	キジ科	ヤマドリ				VU	VU	VU
	カモ科	オシドリ			DD	EN	VU	VU
	カモ科	トモエガモ			VU	VU		VU
	カイツブリ科	アカエリカイツブリ				VU		VU
	カイツブリ科	カンムリカイツブリ				VU		NT1
	カイツブリ科	ミミカイツブリ				DD		DD
	カイツブリ科	ハジロカイツブリ				NT1		NT1
	クイナ科	クイナ				VU		EN
	アマツバメ科	ヒメアマツバメ				LP		VU
	チドリ科	タゲリ				NT2		EN
	ジギ科	ヤマシギ				VU	NT2	NT2
	タマシギ科	タマシギ			VU	CR		CR
	タカ科	ハイタカ			NT	DD	DD	NT2
	タカ科	オオタカ			NT	VU		NT2
	タカ科	ノスリ				NT2		NT2
	タカ科	クマタカ		国内	EN	EN	CR	
	フクロウ科	オオコノハズク				DD	DD	DD
	フクロウ科	フクロウ				RT		NT2
	フクロウ科	トラフズク				EN		EN
	ハヤブサ科	ハヤブサ		国内	VU	VU		VU
	アトリ科	ハギマシコ				VU	VU	
	アトリ科	ベニマシコ				RT		NT2
	ホオジロ科	ミヤマホオジロ				NT1		NT1
ホオジロ科	クロジ				RT		NT2	

注1：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第3回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）【鳥類】
「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-20 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（爬虫類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県評価	低山帯	台地・丘陵帯
爬虫類	イシガメ科	ニホンイシガメ			NT	DD		DD
	スッポン科	ニホンスッポン			DD	DD		DD
	トカゲ科	ヒガシニホントカゲ				NT2	NT2	NT2
	タカチホヘビ科	タカチホヘビ				VU	NT1	VU
	ナミヘビ科	アオダイショウ				NT2	NT2	NT2
	ナミヘビ科	ジムグリ				NT1	NT2	NT1
	ナミヘビ科	シマヘビ				VU	EN	EN
	ナミヘビ科	ヒバカリ				NT1	NT1	NT2
	ナミヘビ科	シロマダラ				VU	NT1	VU
	ナミヘビ科	ヤマカガシ				NT1	NT1	NT2
	クサリヘビ科	ニホンナムシ				NT2	NT2	NT2

注1：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第5回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成30年3月、埼玉県）

表 5.2-21 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（両生類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県評価	低山帯	台地・丘陵帯
両生類	サンショウウオ科	クロサンショウウオ			NT	DD	DD	
	サンショウウオ科	トウキョウサンショウウオ			VU	EN	EN	EN
	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ			NT	VU	VU	
	サンショウウオ科	ハコネサンショウウオ				NT1	VU	
	イモリ科	アカハライモリ			NT	CR	CR	CR
	ヒキガエル科	アズマヒキガエル				NT1	NT2	VU
	アカガエル科	タゴガエル				DD	DD	
	アカガエル科	トウキョウダルマガエル			NT	NT1	NT1	NT1
	アカガエル科	ツチガエル				EN	EN	VU
	アカガエル科	ナガレタゴガエル				NT1	NT1	
	アカガエル科	ニホンアカガエル				VU		VU
	アカガエル科	ヤマアカガエル				NT2	NT2	NT1
	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル				NT2	NT2	NT2
	アオガエル科	モリアオガエル				VU	VU	VU
アオガエル科	カジカガエル				NT1	NT2	NT1	

注1：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第5回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成30年3月、埼玉県）

表 5.2-22(1) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（昆虫類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県 評価	低山帯	台地・ 丘陵帯
昆虫類	アシトコバチ科	ナンブアシトコバチ				CR		CR
	アリ科	マナヅルウロコアリ				LP		LP
	セイボウ科	ムサントゲセイボウ			NT	CR	CR	
	セイボウ科	オオツヤセイボウ			NT	CR		CR
	セイボウ科	フタツバトゲセイボウ				LP		LP
	ツチバチ科	オオハラナガツチバチ				NT2		VU
	クモバチ科	キマダラズアカクモバチ				CR	CR	
	クモバチ科	ヤドリクモバチ				EN	EN	
	クモバチ科	スギハラクモバチ				LP		LP
	クモバチ科	アオスジクモバチ				LP		LP
	クモバチ科	ヒラカタクモバチ				NT2		NT2
	ドロバチ科	オオハムシドロバチ			DD	CR	CR	CR
	ドロバチ科	クチビロハムシドロバチ				NT2		NT2
	スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ			DD	EN		EN
	アナバチ科	フジジガバチ			NT	EX		EX
	アリマキバチ科	ワモンイスカバチ				NT2	NT2	
	ギングチバチ科	アカオビケラトリバチ				EX		EX
	ギングチバチ科	ニッポンハヤバチ				NT2		NT2
	ギングチバチ科	オオグシヒメアナバチ				VU		VU
	ギングチバチ科	コウライクモカリバチ				EN		EN
	ギングチバチ科	コダマジガバチモドキ				EN	EN	EN
	ギングチバチ科	ナンブジガバチモドキ				NT2	NT2	NT2
	ギングチバチ科	シモヤマジガバチモドキ				NT2	NT2	
	ギングチバチ科	サッポロジガバチモドキ				NT1	NT1	NT1
	ギングチバチ科	サクラトゲアナバチ				EX		EX
	ギングチバチ科	ニッポントゲアナバチ				VU		EN
	ギングチバチ科	オタネギングチ				NT2		NT2
	ギングチバチ科	ヤノギングチ				EN	EN	EN
	ギングチバチ科	キスケギングチ				NT2	NT2	
	ギングチバチ科	コシジロギングチ				NT3		NT2
	ギングチバチ科	ワタナベギングチ				NT1	NT1	
	ギングチバチ科	キュビギングチ			DD	EN	EN	
	ギングチバチ科	ムネアカツヤアナバチ				NT1		NT1
	ギングチバチ科	ニッポントゲアワフキバチ				EN	EN	EN
	ドロバチモドキ科	コイケアワフキバチ				VU	VU	
	フシダカバチ科	マエダテツチスガリ			NT	EX	EX	
	フシダカバチ科	ソボツチスガリ				CR	CR	CR
	ヒメハナバチ科	ミカドヒメハナバチ				VU	VU	
	ヒメハナバチ科	トゲアシヒメハナバチ				NT2		NT2
	ハキリバチ科	キョウトキヌゲハキリバチ				NT2	NT2	NT2
	ハキリバチ科	フルカワフトハキリバチ			DD	VU		VU
	ミツバチ科	クロマルハナバチ			NT	DD		DD
	シロチョウ科	ツマグロキチョウ			EN	EN		EN
	シロチョウ科	ヤマキチョウ			EN	EX	EX	
	シロチョウ科	スジボツヤマキチョウ				VU	CR	
	シジミチョウ科	ウラゴマダラシジミ				VU		NT1
	シジミチョウ科	ウラキンシジミ				NT2	NT2	VU
	シジミチョウ科	ムモンアカシジミ				CR	CR	EX
	シジミチョウ科	オナガシジミ				NT1	NT1	CR
	シジミチョウ科	ウスイロオナガシジミ				VU	VU	
シジミチョウ科	ウラミスジシジミ				VU	DD	DD	
シジミチョウ科	ウラクロシジミ				NT2	NT2	NT2	
シジミチョウ科	ミドリシジミ				NT1	VU	NT1	
シジミチョウ科	ウラジロミドリシジミ				CR	CR		
シジミチョウ科	ジョウザンミドリシジミ				CR	CR		

注1：選定基準の番号は、表 5.2 18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第5回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-22(2) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（昆虫類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県 評価	低山帯	台地・ 丘陵帯
昆虫類	シジミチョウ科	クロミドリシジミ				VU	NT1	VU
	シジミチョウ科	ハヤシミドリシジミ				VU	NT1	
	シジミチョウ科	フジミドリシジミ				NT1	NT1	
	シジミチョウ科	コツバメ				NT2		NT2
	シジミチョウ科	カラスシジミ				VU	NT1	NT1
	シジミチョウ科	ミヤマカラスシジミ				CR	CR	
	シジミチョウ科	キマダラルリツバメ			NT	EX	EX	
	シジミチョウ科	クロシジミ			EN	EX	EX	EX
	シジミチョウ科	シルビアシジミ			EN	EX	EX	EX
	シジミチョウ科	クロツバメシジミ				VU	NT1	VU
	シジミチョウ科	ミヤマシジミ			EN	CR	EX	CR
	シジミチョウ科	アサマシジミ				EX	EX	
	タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン			VU	VU	VU	NT2
	タテハチョウ科	オオウラギンスジヒョウモン				NT2		NT2
	タテハチョウ科	クモガタヒョウモン				NT2	NT2	NT2
	タテハチョウ科	メスグロヒョウモン				NT2		NT2
	タテハチョウ科	ウラギンヒョウモン				NT2		NT2
	タテハチョウ科	アサマイチモンジ				NT2	VU	NT2
	タテハチョウ科	オオミスジ				NT1	NT1	EX
	タテハチョウ科	ミスジチョウ				NT2		VU
	タテハチョウ科	ホシミスジ				NT1	NT1	
	タテハチョウ科	ヒオドシチョウ				VU		VU
	タテハチョウ科	オオムラサキ			NT	VU		NT1
	タテハチョウ科	ジャノメチョウ				NT2		NT1
	タテハチョウ科	ツマジロウラジャノメ				NT1	DD	
	セセリチョウ科	キバネセセリ				NT2	NT2	
	セセリチョウ科	ミヤマセセリ				NT1		NT1
	セセリチョウ科	ギンイチモンジセセリ			NT	NT2	CR	NT2
	セセリチョウ科	ホシチャバネセセリ			EN	EX	EX	
	セセリチョウ科	ホソバセセリ				NT2	NT1	NT2
	セセリチョウ科	スジグロチャバネセセリ				VU	EX	
	セセリチョウ科	ヘリグロチャバネセセリ				NT1	CR	
	セセリチョウ科	オオチャバネセセリ				NT2		NT2
	マダラガ科	ヤホシホソマダラ				DD	DD	DD
	シャクガ科	フチグロトゲエダシャク				NT1		DD
	シャクガ科	クワトゲエダシャク			NT	DD		DD
	ヤママユガ科	オナガミズアオ			NT	RT	NT1	NT1
	ヤママユガ科	ヤママユ				RT	NT2	NT2
	ヤママユガ科	エゾヨツメ				RT	NT2	EN
	イボタガ科	イボタガ				RT	NT2	EN
	シャチホコガ科	ネスジシャチホコ				NT2	NT2	
	コブガ科	トビイロリンガ				DD	DD	DD
	ヤガ科	ハスオビアツバ				NT1		NT1
	ヤガ科	ヒメシロシタバ			NT	NT1	NT1	
	ヤガ科	ウスミモンキリガ			NT	NT1		NT1
	ヤガ科	ミスジキリガ			NT	DD		DD
	ナガレトビケラ科	ムナグロナガレトビケラ				NT	NT2	NT2
	ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ			NT	NT1	NT1	
	アシエダトビケラ科	コバントビケラ				NT	NT2	NT2
	ホソバトビケラ科	ホソバトビケラ				NT	NT1	NT1
ハルカ科	ハマダラハルカ			DD	NT1		NT1	
カ科	トワダオオカ				NT1	NT1	NT1	
クサアブ科	ネグロクサアブ			DD	NT2	NT2	NT2	
ミズアブ科	ヒメキイロコウカアブ				NT2	NT2	NT2	
アブ科	マツムラヒメアブ				NT2	NT2	NT2	

注1：選定基準の番号は、表 5.2 18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第5回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-22 (3) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（昆虫類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県 評価	低山帯	台地・ 丘陵帯
昆虫類	アブ科	タイワンヒメアブ				VU		VU
	ツリアブ科	タイワンハラボソツリアブ				NT2	NT2	NT2
	ツリアブ科	キムネハラボソツリアブ				NT2	NT2	
	ツリアブ科	スズキハラボソツリアブ				NT2	NT2	NT2
	ツルギアブ科	サッポロツルギアブ				NT1	NT1	
	ムシヒキアブ科	コーカサスイシアブ				NT2	NT2	
	ムシヒキアブ科	エダヒゲムシヒキ				VU		VU
	ハナアブ科	ミツオビヒゲナガハナアブ				NT2	NT2	
	ハナアブ科	ブサロクロハナアブ				VU		VU
	ハナアブ科	ニトベベッコウハナアブ				NT2	NT2	NT2
	ハナアブ科	スズキベッコウハナアブ				NT2		NT2
	ハナアブ科	シコクモモフトホソハナアブ				NT1		NT1
	ハナアブ科	カワムラモモフトハナアブ				NT2		NT2
	ハナアブ科	ヒサマツハチモドキハナアブ				NT2	NT2	NT2
	ハナアブ科	ハチモドキハナアブ				NT2	NT2	NT2
	ハナアブ科	ケブカハチモドキハナアブ				NT1	NT1	NT1
	ハナアブ科	カクモンハラブトハナアブ				NT2	NT2	NT2
	ハナアブ科	アシボソミケハラブトハナアブ				NT1	NT1	NT1
	ハナアブ科	ツマキモモフトハナアブ				NT1	NT1	
	ハナアブ科	タカオハナアブ				NT1		NT1
	ハナアブ科	コシアキオオモモフトハナアブ				NT1		NT1
	ハナアブ科	オオモモフトハナアブ				NT1	NT1	
	ハナアブ科	カオグロオオモモフトハナアブ				NT1	NT1	
	ハナアブ科	シロスジナガハナアブ				NT2	NT2	NT2
	ハナアブ科	ムナキハナアブ				NT2	NT2	
	ハナアブ科	ヒメハチモドキハナアブ				NT2	NT2	NT2
	ハナアブ科	ジョウザンナガハナアブ				NT2	NT2	NT2
	ハナアブ科	フタオビアリノスアブ				NT2	NT2	NT2
	ハナアブ科	コブアリノスアブ				NT2	NT2	NT2
	デガシラバエ科	オオハチモドキバエ				NT2		NT2
	デガシラバエ科	コマダラハチモドキバエ				NT2		NT2
	デガシラバエ科	イボハチモドキバエ				VU	VU	
	ヤチバエ科	フタスジヤチバエ				NT2		NT2
	ヤチバエ科	クマドリホソバネヤチバエ				VU	VU	
	ヤチバエ科	ヤマトヤチバエ				NT2	NT2	NT2
	ヤチバエ科	チョウセンキタヤチバエ				VU		VU
	ヤドリバエ科	セスジナガハリバエ				NT2	NT2	NT2
	ヤドリバエ科	ダイミョウヒラタハナバエ				NT1	NT1	NT1
	ヤドリバエ科	キイロコガネヤドリバエ				NT2	NT2	NT2
	シリアゲムシ科	ミヤケシリアゲ				NT1	NT1	
	ガガンボモドキ科	ヤマトガガンボモドキ				VU		VU
	ミズスマシ科	オオミズスマシ			NT	CR	CR	
	ミズスマシ科	オナガミズスマシ				VU	VU	VU
	ミズスマシ科	コオナガミズスマシ				VU	NT1	NT1
	ミズスマシ科	コミズスマシ				EN	DD	DD
	ミズスマシ科	ミズスマシ				VU	CR	CR
	コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ				VU	VU	VU
	コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ				DD	CR	EN
	コガシラミズムシ科	ヒメコガシラミズムシ				DD		DD
	ゲンゴロウ科	ヒメシマチビゲンゴロウ				NT1	NT1	NT1
ゲンゴロウ科	ゴマダラチビゲンゴロウ				NT1	NT1	NT1	
ゲンゴロウ科	クロズマメゲンゴロウ				VU	VU		
ゲンゴロウ科	シマゲンゴロウ			NT	NT1	NT1	VU	
ゲンゴロウ科	ケシゲンゴロウ			NT	EN	EN	EN	
ゲンゴロウ科	ヒメケシゲンゴロウ				VU	DD	DD	

注1：選定基準の番号は、表 5.2 18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第 5 回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-22(4) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（昆虫類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県 評価	低山帯	台地・ 丘陵帯
昆虫類	ゲンゴロウ科	コウベツブゲンゴロウ			NT	NT1		NT1
	ゲンゴロウ科	ホンシュウオオイチモンジシマゲンゴロウ				VU		VU
	ゲンゴロウ科	マルガタゲンゴロウ			VU	CR		EX
	ゲンゴロウ科	クロゲンゴロウ			NT	CR	CR	
	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ			VU	EX	EX	EX
	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ			VU	CR	CR	CR
	オサムシ科	フタモンマルクビゴミムシ			EN	CR		EX
	オサムシ科	キベリマルクビゴミムシ			EN	CR	CR	CR
	オサムシ科	アイヌハンミョウ			NT	EX	EX	
	オサムシ科	カワラハンミョウ			EN	EX		EX
	オサムシ科	ホソハンミョウ			VU	NT1		NT1
	オサムシ科	セアカオサムシ			NT	NT1	NT1	NT1
	オサムシ科	コハンミョウモドキ			EN	VU		VU
	オサムシ科	カワラゴミムシ				EN	EN	EN
	オサムシ科	オサムシモドキ				EN		EN
	オサムシ科	ニッコウオオズナガゴミムシ					NT2	NT2
	オサムシ科	チョウセンゴモクムシ			VU	VU	VU	VU
	オサムシ科	チビアオゴミムシ			EN	CR		EX
	オサムシ科	アオヘリアオゴミムシ			CR	EN		EX
	オサムシ科	ヒトツメアオゴミムシ			NT	NT2		NT2
	オサムシ科	オオヒラタトックリゴミムシ			CR	EX		EX
	オサムシ科	オオトックリゴミムシ			NT	VU		VU
	オサムシ科	オオヨツボシゴミムシ				VU	EN	VU
	オサムシ科	クビナガヨツボシゴミムシ			DD	NT2		NT2
	オサムシ科	イグチケブカゴミムシ			NT	NT1		NT1
	オサムシ科	クロモンヒラナガゴミムシ				VU		VU
	オサムシ科	ハガクビナガゴミムシ			DD	EN		EN
	オサムシ科	キノコゴミムシ				NT2	NT2	NT1
	オサムシ科	アリスアトキリゴミムシ			DD	NT2		NT2
	セスジガムシ科	セスジガムシ			EN	EN	DD	
	ガムシ科	ガムシ			NT	CR	EX	CR
	ガムシ科	マルヒラタガムシ			NT	DD	DD	
	ガムシ科	スジヒラタガムシ			NT	NT1	NT1	
	ガムシ科	シジミガムシ			EN	DD	DD	DD
	ガムシ科	クナシリシジミガムシ				NT1	NT1	NT1
	ガムシ科	コマルシジミガムシ				NT1	NT1	
	エンマムシ科	ヤマハマベエンマムシ				NT1	NT1	
	エンマムシ科	ルリエンマムシ				NT2		NT2
	ダルマガムシ科	ヨシトミダルマガムシ				NT2	NT2	NT2
	ダルマガムシ科	セスジダルマガムシ				NT1	NT1	
	ダルマガムシ科	ニッポンセスジダルマガムシ			DD	CR	CR	
	チビシデムシ科	カントウコチビシデムシ				NT1		NT1
	シデムシ科	ヤマトモンシデムシ			NT	NT1	VU	NT1
	シデムシ科	ヒメクロシデムシ				LP	LP	
	ハネカクシ科	ススキクチヒゲアリツカムシ				CR		NT2
ハネカクシ科	フジヤマダルマアリツカムシ				NT1		NT1	
ハネカクシ科	ナミクシヒゲツヤムネハネカクシ				NT2	NT2	NT2	
ハネカクシ科	タカオアバタコバネハネカクシ				NT1	NT1	NT1	
クワガタムシ科	マダラクワガタ				NT1	NT1		
クワガタムシ科	ネプトクワガタ				VU	EX	VU	
クワガタムシ科	オオクワガタ			VU	CR	CR		
クワガタムシ科	マグソクワガタ				DD	DD		
アカマダラセン チコガネ科	アカマダラセンチコガネ				DD	DD		

注1：選定基準の番号は、表 5.2 18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第 5 回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-22 (5) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（昆虫類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県 評価	低山帯	台地・丘 陵帯
昆虫類	コガネムシ科	ダイコクコガネ			VU	CR	EX	
	コガネムシ科	アカマダラハナムグリ			DD	NT1	NT1	NT1
	コガネムシ科	トラハナムグリ				NT1		NT1
	コガネムシ科	クロモンマグソコガネ			NT	NT1	NT1	
	コガネムシ科	ヒメキイロマグソコガネ			NT	NT1		NT1
	タマムシ科	ウバタマムシ				NT2	NT2	NT2
	タマムシ科	アオマダラタマムシ				NT2	NT2	NT2
	ヒメドロムシ科	キベリナガアシドロムシ				VU	VU	VU
	ヒメドロムシ科	アカツヤドロムシ			EN	EN	EN	
	ドロムシ科	ムナビロツヤドロムシ				NT1		NT1
	ヒラタドロムシ科	マスダチビヒラタドロムシ				NT1		NT1
	ホタル科	ヒメボタル				VU	VU	
	ホタル科	ゲンジボタル				VU	VU	VU
	ホタル科	ヘイケボタル				NT1	NT1	NT1
	ホタル科	スジグロボタル				NT2		NT2
	ジョウカイボン科	キイロジョウカイ				EN		EN
	ジョウカイモドキ科	イシハラジョウカイモドキ				VU		VU
	ケシキスイムシ科	オオキマダラケシキスイ				NT2	NT2	
	オオキノコムシ科	トウキョウムネピロオオキノコ				NT1		NT1
	テントウムシ科	ムモンチャイロテントウ				NT2		NT1
	テントウムシ科	アイヌテントウ				NT2	NT2	NT2
	ツチハンミョウ科	マルクビツチハンミョウ				NT1	NT1	
	ハナノミ科	クリイロヒゲハナノミ				NT1		NT1
	カミキリムシ科	ベニバハナカミキリ				NT2		NT2
	カミキリムシ科	クスベニカミキリ				NT2	NT2	NT2
	カミキリムシ科	ヨツボシカミキリ			EN	EN	EN	EN
	カミキリムシ科	アカアシオオアオカミキリ				NT2		NT2
	カミキリムシ科	アオカミキリ				NT1	NT1	NT1
	カミキリムシ科	オオトラカミキリ				NT1	NT1	VU
	カミキリムシ科	トラフカミキリ				NT2	NT2	NT2
	カミキリムシ科	ヒメピロウドカミキリ			NT	NT1		NT1
	カミキリムシ科	シロスジカミキリ				NT2	NT2	NT2
	ハムシ科	ツヤネクイハムシ				EN		EN
	ハムシ科	スゲハムシ				EN	CR	EN
	ハムシ科	イネネクイハムシ				NT2		NT2
	ハムシ科	オオルリハムシ			NT	VU		CR
	ハムシ科	タグチホソヒラタハムシ				VU		VU
	ゾウムシ科	オナガカツオゾウムシ				VU		VU
	イネゾウムシ科	クロイネゾウムシ				NT2		NT2
	ヘビトンボ科	タイリククロスジヘビトンボ				NT2	NT2	NT2
	ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ				NT2	NT2	NT2
	センブリ科	クロセンブリ				NT1		NT1
	ラクダムシ科	ラクダムシ				VU	VU	VU
	ヒロバカゲロウ科	ブライヤーヒロバカゲロウ				NT2	NT2	NT2
	ヒロバカゲロウ科	ウンモンヒロバカゲロウ				NT2	NT2	
	カマキリモドキ科	ヒメカマキリモドキ				NT2	NT2	NT2
	ヒメカゲロウ科	エグリヒメカゲロウ				NT1	NT1	
	ヒメカゲロウ科	クビカクシヒメカゲロウ				VU	VU	
	ウスバカゲロウ科	オオウスバカゲロウ				CR	CR	
	ツノトンボ科	キバネツノトンボ				CR	CR	CR
セミ科	アカエゾゼミ				NT1	NT1		
セミ科	ハルゼミ				NT1	NT1	NT1	
セミ科	チッチゼミ				NT1	NT1	NT1	
トゲアワフキムシ科	タケウチトゲアワフキ				NT1	NT1		
ヨコバイ科	カワムラヨコバイ				VU		VU	

注1：選定基準の番号は、表 5.2 18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第 5 回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-22 (6) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（昆虫類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県評価	低山帯	台地・丘陵帯
昆虫類	ヨコバイ科	ナカハラヨコバイ				CR	CR	
	ウンカ科	クロスジオウンカ				NT1		NT1
	ハネナガウンカ科	アヤヘリハネナガウンカ				NT1	NT1	NT1
	ハネナガウンカ科	シリアカハネナガウンカ				NT1	NT1	NT1
	ハネナガウンカ科	キスジハネビロウンカ				NT1	NT1	NT1
	コガシラウンカ科	イブキコガシラウンカ				VU	VU	
	テングシケバ科	クロテングスケバ				NT1	NT1	
	グンバイウンカ科	ハウチワウンカ			VU	EN		EN
	アリヅカウンカ科	アリヅカウンカ				NT1	NT1	NT1
	ノミカメムシ科	オオメノミカメムシ			DD	DD		DD
	コオイムシ科	コオイムシ			NT	CR	CR	CR
	コオイムシ科	オオコオイムシ				VU	VU	
	コオイムシ科	タガメ			VU	CR	CR	EX
	ミズムシ科	ミヅナシミズムシ			NT	VU		VU
	ナベブタムシ科	ナベブタムシ				VU	VU	VU
	マルミズムシ科	ヒメマルミズムシ				VU	VU	
	マルミズムシ科	マルミズムシ				VU	VU	
	ミズカメムシ科	ムモンミズカメムシ				NT1	NT1	NT1
	カタビロアメンボ科	マダラケシカタビロアメンボ				NT1	NT1	
	アメンボ科	オオアメンボ				NT2	NT2	NT2
	アメンボ科	ババアメンボ			NT	NT1	NT1	NT1
	アメンボ科	エサキアメンボ			NT	NT2	NT1	NT1
	ミズギワカメムシ科	モンシロミズギワカメムシ				NT1	NT1	NT1
	マキバサシガメ科	ベニモンマキバサシガメ				NT2	NT2	NT2
	サシガメ科	ビロウドサシガメ				VU	VU	VU
	サシガメ科	トゲサシガメ				NT1	NT1	NT1
	サシガメ科	アカヘリサシガメ				NT2	NT2	NT2
	サシガメ科	キイロサシガメ				VU		VU
	ヘリカメムシ科	ヒメトゲヘリカメムシ				NT1	NT1	NT1
	ヘリカメムシ科	アズキヘリカメムシ				NT1	NT1	NT1
	ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ			NT	NT2	NT2	NT2
	キンカメムシ科	チャイロカメムシ				NT2	NT2	NT2
	カメムシ科	シモフリクチプトカメムシ				NT1	NT1	
	カメムシ科	イシハラカメムシ				NT1	NT1	NT1
	カメムシ科	ズグロシラホシカメムシ				NT1	NT1	
	カメムシ科	タマカメムシ				NT1	NT1	
	カメムシ科	イネカメムシ				CR		CR
	カメムシ科	ヒメナガメ				NT2	NT2	NT2
	カメムシ科	イネクロカメムシ				NT2		NT2
	ツノカメムシ科	フトハサミツノカメムシ				NT1	NT1	
	ツノカメムシ科	ツノアカツノカメムシ				NT1	NT1	
	トビナナフシ科	トゲナナフシ				VU		VU
	トビナナフシ科	エダナナフシ				VU	VU	
	トビナナフシ科	ニホントビナナフシ				NT1		NT1
	トビナナフシ科	ヤスマツトビナナフシ				NT2	NT2	NT2
	トビナナフシ科	シラキトビナナフシ				DD	DD	
	コオロギ科	エゾエンマコオロギ				EN	EN	EN
	コオロギ科	クマコオロギ				NT1	DD	NT2
	コオロギ科	オオオカメコオロギ				EN	EN	EN
	コオロギ科	コガタコオロギ				EN	EN	VU
マツムシ科	マツムシ				VU		EN	
マツムシ科	カヤコオロギ				EN		EN	
マツムシ科	コガタカントン				VU	VU	EN	
カマドウマ科	クロイシカワカマドウマ				CR	CR		
キリギリス科	ヤマヤブキリ				LP	LP		

注1：選定基準の番号は、表 5.2 18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第 5 回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-22 (7) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（昆虫類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県評価	低山帯	台地・丘陵帯
昆虫類	キリギリス科	ヒガシキリギリス				NT1	NT2	NT2
	キリギリス科	カヤキリ				EN		EX
	キリギリス科	ヒメクサキリ				NT1		NT1
	ササキリモドキ科	ムサシセモンササキリモドキ				EN	DD	
	ササキリモドキ科	ササキリモドキ				NT1	NT1	NT1
	ササキリモドキ科	ヒメツユムシ				NT1	NT1	NT1
	ササキリモドキ科	クロスジコバネササキリモドキ				NT2	NT2	NT2
	クツワムシ科	クツワムシ				EN	CR	VU
	ツユムシ科	エゾツユムシ				NT2		NT2
	ツユムシ科	ヘリグロツユムシ				DD	NT1	
	バッタ科	アオフキバッタ				RT		NT2
	バッタ科	ヤマトフキバッタ				RT		NT2
	バッタ科	メスアカフキバッタ				VU	EN	
	バッタ科	タンザワフキバッタ				VU	NT1	
	バッタ科	ヒメフキバッタ				NT1	NT2	NT1
	バッタ科	ハネナガイナゴ				NT1		NT2
	バッタ科	セグロイナゴ				VU		NT2
	バッタ科	ショウリョウバッタモドキ				NT2	NT1	NT2
	バッタ科	ナキイナゴ				NT1	NT1	VU
	バッタ科	ヒナバッタ				NT1	NT1	
	バッタ科	イナゴモドキ				EN	EN	
	バッタ科	ツマグロバッタ				VU	VU	VU
	バッタ科	クルマバッタ				NT2	NT2	NT2
	バッタ科	カワラバッタ				EN	VU	EN
	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ				VU	DD	DD
	アミメカワゲラ科	フライソニアミメカワゲラ			NT	NT2	NT2	NT2
	アミメカワゲラ科	ヤマトヒメカワゲラ				VU	VU	VU
	アミメカワゲラ科	アサカワヒメカワゲラ				NT2	NT2	NT2
	カワゲラ科	ヤマトカワゲラ				NT2	NT2	
	カマキリ科	ウスバカマキリ			DD	EN	DD	DD
	クロハサミムシ科	チビハサミムシ				DD	DD	DD
	クヌギハサミムシ科	エゾハサミムシ				LP		LP
	クヌギハサミムシ科	キバネハサミムシ				DD		LP
	ガロアムシ科	ガロアムシ				LP		NT2
	アオイトトンボ科	コバネアオイトトンボ			EN	EX		EX
	アオトンボ科	アオハダトンボ			NT	VU		VU
	イトトンボ科	キイトトンボ				NT2	NT2	NT2
	イトトンボ科	ベニイトトンボ			NT	EN	EX	EX
	イトトンボ科	オゼイトトンボ				EX	EX	
	イトトンボ科	モートンイトトンボ			NT	EN	EN	EN
	ムカシトンボ科	ムカシトンボ				NT1	NT1	NT1
	ヤンマ科	サラサヤンマ				NT2		NT2
	ヤンマ科	コシボソヤンマ				NT1	NT1	NT1
	ヤンマ科	アオヤンマ			NT	VU		VU
	ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ			NT	NT2		NT2
	ヤンマ科	マルタンヤンマ				NT2	NT2	NT2
	ヤンマ科	マダラヤンマ			NT	DD	DD	DD
	ヤンマ科	オオルリボシヤンマ				VU	VU	VU
	ヤンマ科	ルリボシヤンマ				NT1	NT1	NT1
	サナエトンボ科	アオサナエ				NT1		NT1
サナエトンボ科	クロサナエ				NT1	NT1	NT1	
サナエトンボ科	ヒメクロサナエ				NT1	NT1	NT1	
サナエトンボ科	ヒメサナエ				NT1	NT1	NT1	
サナエトンボ科	メガネサナエ			VU	EX		EX	
サナエトンボ科	ホンサナエ				VU		VU	

注1：選定基準の番号は、表 5.2 18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第 5 回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-22(8) 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（昆虫類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県 評価	低山帯	台地・丘 陵帯
昆虫類	サナエトンボ科	キイロサナエ			NT	VU	EN	EN
	サナエトンボ科	ヤマサナエ				NT2	NT2	NT2
	ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ				VU	VU	VU
	エゾトンボ科	トラフトンボ				VU		VU
	エゾトンボ科	エゾトンボ				CR		CR
	エゾトンボ科	ハネビロエゾトンボ			VU	CR		CR
	エゾトンボ科	キイロヤマトンボ			NT	CR		CR
	トンボ科	ヒメアカネ				VU		VU
	トンボ科	キトンボ				VU	VU	VU
	トンボ科	オオキトンボ			EN	CR		EX
	トンボ科	ハッチョウトンボ				EX		EX
	トンボ科	ハラビロトンボ				NT2		NT2
	トンボ科	ヨツボシトンボ				VU	CR	VU
	モンカゲロウ科	トウヨウモンカゲロウ				VU		VU

注1：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「第5回自然環境保全基礎調査」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

【哺乳類・両生類・爬虫類・淡水魚類・昆虫類・貝類】

「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-23 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（多足類）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県 評価	低山帯	台地・丘 陵帯
多足類	イシムカデ科	アワヒトフシムカデ				NT1		NT1
	メナシムカデ科	スジメナシムカデ				NT1	NT1	
	ナガズジムカデ科	ニホンニブズジムカデ				CR		CR
	マドジムカデ科	ミドリジムカデ				NT1	NT1	NT1
	タマヤスデ科	ヤマトタマヤスデ				CR	CR	
	ヒラタヤスデ科	ヤマシナヒラタヤスデ				NT1	NT1	
	オビヤスデ科	トワダオビヤスデ				EX	EX	
	オビヤスデ科	ヨシダオビヤスデ				CR		CR
	ハガヤスデ科	コブヤスデ				CR		CR
	ハガヤスデ科	キレコミヤスデ				CR	CR	CR
	ホタルヤスデ科	トリイリュウガヤスデ				CR	CR	
	カザアナヤスデ科	ミヤマタテウネホラヤスデ				CR		CR
	ヒメヤスデ科	ツメフジヤスデ				CR		CR

注1：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-24 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（クモ目）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県評価	低山帯	台地・丘陵帯
クモ目	ジグモ科	ワスレナグモ			NT		NT1	NT1
	カネコトタテグモ科	カネコトタテグモ			NT		VU	VU
	トタテグモ科	キノボリトタテグモ			NT		NT1	NT1
	コモリグモ科	スズキコモリグモ				DD		
	サラグモ科	キヌキリグモ					EX	
	アシナガグモ科	タニマノドヨウグモ					NT1	NT1
	コガネグモ科	ニシキオニグモ				DD		
	コガネグモ科	コガネグモ						NT1
	コガネグモ科	トリノフンダマシ						NT1
	コガネグモ科	オオトリノフンダマシ					NT1	NT1
	コガネグモ科	シロオビトリノフンダマシ						NT1
	コガネグモ科	アカイロトリノフンダマシ					NT1	NT1
	コガネグモ科	トゲグモ					VU	VU
	コガネグモ科	ムツトゲイセキグモ				DD		
	コガネグモ科	ゲホウグモ				DD		
カニグモ科	アシナガカニグモ					EN		
カニグモ科	オビボソカニグモ				DD			

注1：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-25 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（軟体動物）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県評価	低山帯	台地・丘陵帯
軟体動物	ヤマタニシ科	サドヤマトガイ			NT	VU	VU	EN
	ヤマタニシ科	アツブタガイ				VU	VU	VU
	ヤマタニシ科	ミジンヤマタニシ				VU	VU	EN
	タニシ科	マルタニシ			VU	VU	VU	VU
	タニシ科	オオタニシ			NT	VU	VU	VU
	ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ			DD	NT2		DD
	モノアラガイ科	モノアラガイ			NT	NT2		NT2
	マキゾメガイ科	マルナタネガイ				VU	VU	CR
	キセルガイ科	オオタキコギセル				EN	VU	EN
	キセルガイ科	ナミコギセル				LP		LP
	ナタネガイ科	ナタネガイ				CR	CR	
	オカモノアラガイ科	オカモノアラガイ				EN		EN
	ベッコウマイマイ科	タカキビ			NT	VU	VU	VU
	ベッコウマイマイ科	サドタカキビ			DD	VU	VU	VU
	ベッコウマイマイ科	オオウエキビ			DD	EN	EN	
	ベッコウマイマイ科	ヒメハリマキビ			NT	EN	EN	
	ベッコウマイマイ科	ウメムラシタラガイ				EN	EN	CR
	ベッコウマイマイ科	ウゼンシタラガイ				CR	CR	
	ベッコウマイマイ科	マルシタラガイ				VU	VU	
	ベッコウマイマイ科	ツノイロヒメベッコウ				EN	EN	
	ベッコウマイマイ科	ヒラベッコウガイ				VU	VU	EN
	ベッコウマイマイ科	キヌツヤベッコウ			DD	EN	EN	
	ベッコウマイマイ科	ハクサンベッコウ			DD	VU	VU	
	ベッコウマイマイ科	レンズガイ			VU	EX	EX	
	ナンバンマイマイ科	コベソマイマイ				VU	VU	VU
	イシガイ科	イシガイ				NT2		NT2
	イシガイ科	マツカサガイ			NT	EN		EN
イシガイ科	ヨコハマシジラガイ			NT	NT2		NT2	
イシガイ科	ドブガイ				NT2		NT2	

注1：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

2：種の並び順は、「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」に準拠した。

出典：「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-26 計画区域周辺で確認された貴重な動物種（扁形動物）

分類	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④		
						全県 評価	低山帯	台地・丘陵帯
扁形動物	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ				LP		LP

注：選定基準の番号は、表 5.2-18 に対応する。

出典：「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」（平成 30 年 3 月、埼玉県）

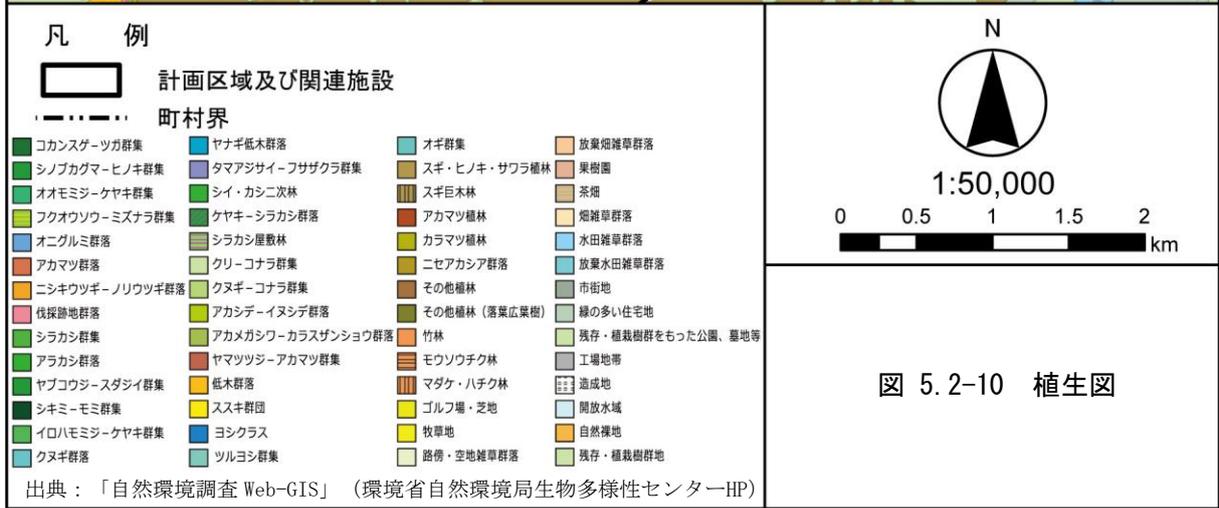
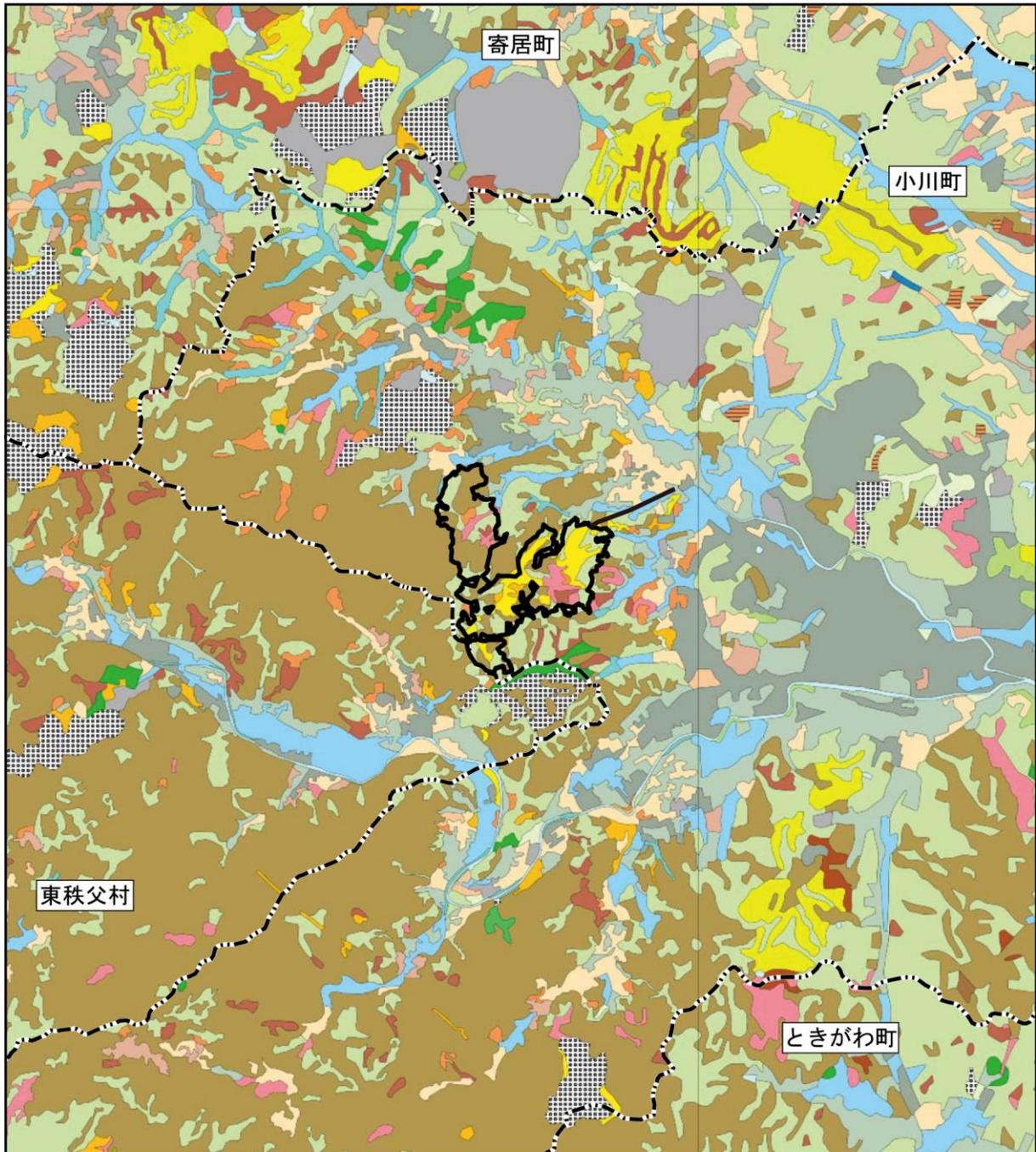
(2) 植物

1) 植生の状況

小川町は、埼玉県の中央部よりやや西、首都圏60km圏内に位置し、地帯は台地・丘陵帯及び低山帯に区分され、周囲を緑豊かな外秩父の山々に囲まれた地形となっている。

計画区域周辺の植生図は、図 5.2-10に示すとおりである。

計画区域は、主にススキ群団、スギ・ヒノキ・サワラ植林、クリーコナラ群集、伐採跡地群落、ヤマツツジ・アカマツ群集などで構成されている。



2) 貴重な植物の分布状況

「1998年版埼玉県植物誌」に記載されている関係町村で確認された種、及び「埼玉県レッドデータブック2011植物編」に記載されている地帯区分において、関係町村が含まれる低山西、低山東、丘陵北及び丘陵南での分布が確認された種のうち表 5.2-27に該当する種は149科470種であり、その内容は表 5.2-28に示すとおりである。

表 5.2-27 貴重な植物種の選定基準

No.	出典	基準
①	「文化財保護法」(昭和25年5月、法律第214号)	特天：特別天然記念物
		天：天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月、法律第75号)	国内：国内希少野生動植物種
		国際：国際希少野生動植物種
③	「環境省レッドリスト2019」(平成31年1月、環境省)	EX：絶滅
		EW：野生絶滅
		CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類
		CR：絶滅危惧ⅠA類
		EN：絶滅危惧ⅠB類
		VU：絶滅危惧Ⅱ類
		NT：準絶滅危惧
		DD：情報不足
④	「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(平成24年3月、埼玉県)	EX：絶滅
		EW：野生絶滅
		CE：絶滅危惧Ⅰ類
		CR：絶滅危惧ⅠA類
		EN：絶滅危惧ⅠB類
		VU：絶滅危惧Ⅱ類
		NT：準絶滅危惧
		DD：情報不足
LP：地域個体群		

表 5.2-28(1) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
マツバラ科	マツバラ			NT	CR
イワヒバ科	カタヒバ				NT
イワヒバ科	タチクラマゴケ				VU
イワヒバ科	ヤマクラマゴケ				VU
イワヒバ科	イワヒバ				NT
ミズニラ科	ミズニラ			NT	VU
トクサ科	イヌスギナ				NT
ハナヤスリ科	アカハナワラビ				NT
ハナヤスリ科	ナツノハナワラビ				NT
ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ				VU
ハナヤスリ科	コハナヤスリ				EN
ハナヤスリ科	ヒロハハナヤスリ				EN
ゼンマイ科	ヤマドリゼンマイ				EN
ゼンマイ科	ヤシャゼンマイ				VU
キジノオシダ科	オオキジノオ				CR
キジノオシダ科	キジノオシダ				VU
ウラジロ科	コシダ				VU
ウラジロ科	ウラジロ				NT
コケシノブ科	ハイホラゴケ				VU
コケシノブ科	アオホラゴケ				VU
コケシノブ科	チチブホラゴケ				VU
コバノイシカグマ科	コバノイシカグマ				NT
コバノイシカグマ科	オオフジシダ				VU
コバノイシカグマ科	フジシダ				NT
ホングウシダ科	ホラシノブ				VU
ホウライシダ科	ミズワラビ				NT
ホウライシダ科	ヒメウラジロ			VU	VU
ホウライシダ科	ミヤマウラジロ				NT
ホウライシダ科	イワウラジロ			EN	CR
ホウライシダ科	カラクサシダ				VU
シシラン科	シシラン				NT
イノモトソウ科	アマクサシダ				EN
イノモトソウ科	オオバノハチジョウシダ				EN
イノモトソウ科	マツザカシダ				DD
チャセンシダ科	ヒメイワトラノオ				VU
チャセンシダ科	トキワトラノオ				VU
チャセンシダ科	オクタマシダ			VU	EN
チャセンシダ科	クモノスシダ				NT
シシガシラ科	コモチシダ				EN
オシダ科	ホソバカナワラビ				CR
オシダ科	オニカナワラビ				EN
オシダ科	シノブカグマ				NT
オシダ科	オオカナワラビ				NT
オシダ科	メヤブソテツ				NT
オシダ科	キヨスミヒメワラビ				NT
オシダ科	サイゴクベニシダ				VU
オシダ科	イワヘゴ				NT
オシダ科	ナチクジャク				CR

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-28(2) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
オシダ科	マルバベニシダ				NT
オシダ科	サクライカグマ				VU
オシダ科	ヌカイタチシダ				EN
オシダ科	ギフベニシダ				DD
オシダ科	エンシュウベニシダ				EN
オシダ科	ナガバノイタチシダ				EN
オシダ科	タニヘゴ				VU
オシダ科	チャボイノデ				EN
オシダ科	カタイノデ				VU
オシダ科	サイゴクイノデ				VU
オシダ科	ヒメカナワラビ				EN
オシダ科	オオキヨズミシダ				EN
ヒメシダ科	コハシゴシダ				EN
イワデンド科	ウスヒメワラビ				NT
イワデンド科	ミヤコイヌワラビ				EN
イワデンド科	イワイヌワラビ				EN
イワデンド科	オオヒメワラビ				NT
イワデンド科	ミドリワラビ				EN
イワデンド科	ミヤマノコギリシダ				DD
イワデンド科	ノコギリシダ				EN
イワデンド科	イワウサギシダ				VU
イワデンド科	エビラシダ				EN
イワデンド科	キンモウワラビ			VU	VU
イワデンド科	コガネシダ				VU
ウラボシ科	ホテイシダ				VU
ウラボシ科	サジラン				VU
ウラボシ科	ヒメサジラン				EN
ウラボシ科	クリハラン				CR
ウラボシ科	アオネカズラ				CR
ウラボシ科	ミョウギシダ			EN	CR
サンショウモ科	サンショウモ			VU	EN
マツ科	ゴヨウマツ				NT
ヒノキ科	ネズミサシ				NT
ヤナギ科	シライヤナギ				NT
カバノキ科	チチブミネバリ			EN	EN
ブナ科	アカガシ				NT
イラクサ科	トキホコリ			VU	VU
ヤドリギ科	マツグミ				EN
タデ科	ヒメタデ			VU	EN
タデ科	ホソバイスタデ			NT	EN
タデ科	ナガバノウナギツカミ			NT	EX
タデ科	シロバナサクラタデ				NT
ヤマゴボウ科	マルミノヤマゴボウ				EN
ナデシコ科	カワラナデシコ				VU
ナデシコ科	オオヤマフスマ				EN
ナデシコ科	ワチガイソウ				NT
ナデシコ科	ワダソウ				NT
ナデシコ科	ヒゲネワチガイソウ				NT

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-28(3) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
ナデシコ科	ナンバンハコベ				NT
ナデシコ科	オオビランジ			NT	EN
ナデシコ科	フシグロセンノウ				NT
アカザ科	カワラアカザ				EN
アカザ科	ミドリアカザ			CR	EN
キンポウゲ科	ホソバトリカブト				CR
キンポウゲ科	フクジュソウ				NT
キンポウゲ科	ヒメイチゲ				NT
キンポウゲ科	イチリンソウ				NT
キンポウゲ科	アズマイチゲ				NT
キンポウゲ科	カザグルマ			NT	EN
キンポウゲ科	トウゴクサバノオ				NT
キンポウゲ科	ミスミソウ			NT	CR
キンポウゲ科	オキナグサ			VU	CR
キンポウゲ科	ヒメウズ				VU
キンポウゲ科	セツブンソウ			NT	NT
キンポウゲ科	カラマツソウ				EN
キンポウゲ科	オオカラマツ				NT
キンポウゲ科	ノカラマツ			VU	VU
メギ科	イカリソウ				NT
ツツラフジ科	コウモリカズラ				NT
ツツラフジ科	ツツラフジ				VU
ドクダミ科	ハンゲショウ				VU
ウマノスズクサ科	カンアオイ				NT
ウマノスズクサ科	ウスバサイシン				NT
ボタン科	ヤマシヤクヤク			NT	VU
ボタン科	ベニバナヤマシヤクヤク			VU	CR
オトギリソウ科	トモエソウ				VU
オトギリソウ科	コオトギリ				NT
オトギリソウ科	ミズオトギリ				EN
モウセンゴケ科	モウセンゴケ				CR
ケシ科	ツルケマン			EN	EN
ケシ科	ヤマブキソウ				NT
アブラナ科	ミズタガラシ				EN
アブラナ科	キバナハタザオ				VU
アブラナ科	ハタザオ				VU
ベンケイソウ科	ミツバベンケイソウ				VU
ベンケイソウ科	ツメレンゲ			NT	EN
ユキノシタ科	ネコノメソウ				NT
ユキノシタ科	ウメウツギ			VU	CR
ユキノシタ科	シラヒゲソウ				EN
ユキノシタ科	ヤワタソウ				EN
ユキノシタ科	タコノアシ			NT	VU
ユキノシタ科	ヤブサンザシ				VU
ユキノシタ科	ジンジソウ				VU
ユキノシタ科	ダイモンジソウ				VU
バラ科	リンボク				EN
バラ科	オオズミ				DD

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-28(4) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
バラ科	ナンキンナナカマド				NT
バラ科	イワシモツケ				EN
マメ科	タヌキマメ				CR
マメ科	イヌハギ			VU	VU
カタバミ科	カントウミヤマカタバミ				EN
カタバミ科	オオヤマカタバミ			VU	EN
フウロソウ科	コフウロ				EN
トウダイグサ科	ノウルシ			NT	VU
トウダイグサ科	シナノタイゲキ				CR
トウダイグサ科	ヤマアイ				CR
ミカン科	フユザンショウ				NT
ヒメハギ科	ヒナノキンチャク			EN	CR
ドクウツギ科	ドクウツギ				EN
クロウメモドキ科	ミヤマクマヤナギ				VU
ジンチョウゲ科	チョウセンナニワズ			VU	CR
ジンチョウゲ科	オニシバリ				EN
スマレ科	エゾノタチツボスミレ				VU
スマレ科	ヒメミヤマスミレ				EN
スマレ科	サクラスミレ				VU
スマレ科	コミヤマスミレ				EN
スマレ科	アケボノスミレ				NT
スマレ科	シコクスミレ				VU
スマレ科	マキノスミレ				VU
ミソハギ科	ヒメミソハギ				NT
ミソハギ科	エゾミソハギ				EN
ミソハギ科	ミズマツバ			VU	VU
ヒシ科	ヒメビシ			VU	EN
ヒシ科	ヒシ				NT
アカバナ科	ウシタキソウ				NT
アカバナ科	トダイアカバナ			VU	EN
アカバナ科	ミズユキノシタ				CR
アリノトウグサ科	ホザキノフサモ				EN
セリ科	ハナビゼリ				VU
セリ科	ホタルサイコ				NT
セリ科	オオバチドメ				NT
セリ科	イブキボウフウ				VU
イチヤクソウ科	ウメガサソウ				VU
イチヤクソウ科	シャクジョウソウ				NT
イチヤクソウ科	アキノギンリョウソウ				VU
ツツジ科	サラサドウダン				NT
ツツジ科	チチブドウダン				NT
ツツジ科	イワナンテン				NT
ツツジ科	ヒカゲツツジ				VU
ツツジ科	アカヤシオ				VU
ツツジ科	シロヤシオ				NT
サクラソウ科	ヌマトラノオ				NT
マチン科	アイナエ				NT
リンドウ科	コケリンドウ				EN

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-28(5) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
リンドウ科	チチ布林ドウ			EN	CR
リンドウ科	ホソバノツルリンドウ			VU	EN
リンドウ科	アケボノソウ				EN
リンドウ科	センブリ				VU
ガガイモ科	コカモメヅル				NT
ガガイモ科	フナバラソウ			VU	CR
ガガイモ科	タチガシワ				NT
ガガイモ科	スズサイコ			NT	EN
アカネ科	アリドオシ				VU
アカネ科	キクムグラ				NT
アカネ科	ホソバノヨツバムグラ				NT
アカネ科	カワラマツバ				EN
ヒルガオ科	マメダオシ			CR	EN
ムラサキ科	オオルリソウ				NT
ムラサキ科	ホタルカズラ				VU
ムラサキ科	ヤマルリソウ				VU
シソ科	ヒイラギソウ			EN	EN
シソ科	オウギカズラ				NT
シソ科	ツクバキンモンソウ				VU
シソ科	マネキグサ			NT	EN
シソ科	ミゾコウジュ			NT	NT
シソ科	オカタツナミソウ				NT
シソ科	ヒメナミキ				EN
シソ科	トウゴクシソバタツナミ				NT
シソ科	ホナガタツナミソウ				NT
ナス科	アオホオズキ			VU	EN
ゴマノハグサ科	アブノメ				NT
ゴマノハグサ科	オオアブノメ			VU	EN
ゴマノハグサ科	ヤマウツボ				VU
ゴマノハグサ科	シソクサ				EN
ゴマノハグサ科	キクモ				NT
ゴマノハグサ科	スズメノトウガラシ				EN
ゴマノハグサ科	ママコナ				NT
ゴマノハグサ科	クチナシグサ				NT
ゴマノハグサ科	シオガマギク				VU
ゴマノハグサ科	サツキヒナノウスツボ				VU
ゴマノハグサ科	ヒキヨモギ				NT
ゴマノハグサ科	オオヒキヨモギ			VU	EN
ゴマノハグサ科	イヌノフグリ			VU	NT
ゴマノハグサ科	カワヂシャ			NT	VU
キツネノマゴ科	ハグロソウ				NT
ハマウツボ科	ナンバンギセル				VU
ハマウツボ科	キヨスミウツボ				EN
タヌキモ科	ムシトリスミレ				CR
スイカズラ科	ニッコウヒョウタンボク				VU
スイカズラ科	ハヤザキヒョウタンボク				CR
スイカズラ科	ゴマギ				NT
オミナエシ科	オミナエシ				EN

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-28(6) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
オミナエシ科	ツルカノコソウ				NT
マツムシソウ科	ナベナ				VU
キキョウ科	フクシマシャジン				NT
キキョウ科	ツルギキョウ			VU	CR
キキョウ科	バアソブ			VU	EN
キキョウ科	サワギキョウ				CR
キク科	カワラハハコ				VU
キク科	クリヤマハハコ			VU	EN
キク科	カワラヨモギ				VU
キク科	サワシロギク				DD
キク科	タウコギ				NT
キク科	オオガンクビソウ				NT
キク科	キクタニギク			NT	NT
キク科	フジバカマ			NT	NT
キク科	アキノハハコグサ			EN	CR
キク科	オグルマ				NT
キク科	カセンソウ				NT
キク科	ノニガナ				NT
キク科	カワラニガナ			NT	VU
キク科	ウスユキソウ				NT
キク科	オオモミジガサ				VU
キク科	テバコモミジガサ				NT
キク科	コウシュウヒゴタイ				CR
キク科	ミヤコアザミ				EN
キク科	アサマヒゴタイ				VU
キク科	タカオヒゴタイ				CR
キク科	セイタカトウヒレン				EN
キク科	キオン				NT
キク科	ハバヤマボクチ				VU
キク科	キバナコウリンカ			EN	CR
キク科	オカオグルマ				EN
キク科	オナモミ			VU	VU
オモダカ科	ヘラオモダカ				NT
オモダカ科	サジオモダカ				EN
オモダカ科	ウリカワ				NT
トチカガミ科	クロモ				EN
トチカガミ科	ミズオオバコ			VU	VU
トチカガミ科	コウガイモ				VU
ヒルムシロ科	エビモ				NT
ヒルムシロ科	ヒルムシロ				NT
ヒルムシロ科	ヤナギモ				NT
イバラモ科	イトトリゲモ			NT	DD
イバラモ科	ホッスモ				DD
ユリ科	ノギラン				NT
ユリ科	ヒメニラ				NT
ユリ科	アマナ				NT
ユリ科	ヒロハノアマナ			VU	EN
ユリ科	キジカクシ				NT

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-28(7) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
ユリ科	ステゴビル			VU	EN
ユリ科	アズマシライトソウ			VU	EN
ユリ科	カタクリ				NT
ユリ科	キバナノアマナ				NT
ユリ科	ニッコウキスゲ				VU
ユリ科	コオニユリ				NT
ユリ科	ホソバナノアマナ				NT
ユリ科	ワニグチソウ				NT
ユリ科	チャボゼキショウ				VU
ユリ科	ホトトギス				VU
ユリ科	タマガワホトトギス				NT
ユリ科	エンレイソウ				NT
ユリ科	シロバナエンレイソウ				NT
ヒガンバナ科	キツネノカミソリ				NT
アヤメ科	ノハナショウブ				VU
アヤメ科	ヒメシャガ			NT	EN
アヤメ科	アヤメ				NT
ホシクサ科	ヒロハイヌノヒゲ				VU
ホシクサ科	ホシクサ				EN
ホシクサ科	イトイヌノヒゲ				EN
ホシクサ科	ニッポンイヌノヒゲ				EN
イネ科	セトガヤ				NT
イネ科	ヒメアブラススキ				NT
イネ科	カリマタガヤ				VU
イネ科	ムツオレグサ				NT
イネ科	アズマガヤ				NT
イネ科	ハイチゴザサ				EN
イネ科	ヌマガヤ				EN
イネ科	キダチノネズミガヤ				NT
イネ科	ウシクサ				NT
イネ科	ヒゲシバ				NT
イネ科	ヒロハノハネガヤ				NT
イネ科	ハネガヤ				NT
サトイモ科	ヒロハテンナンショウ				EN
サトイモ科	ウラシマソウ				NT
サトイモ科	ザゼンソウ				EN
サトイモ科	ヒメザゼンソウ				EN
ミクリ科	ヤマトミクリ			NT	EN
カヤツリグサ科	ツクバスゲ				NT
カヤツリグサ科	アワボスゲ				VU
カヤツリグサ科	サナギスゲ				VU
カヤツリグサ科	ヤマアゼスゲ				NT
カヤツリグサ科	ウマスゲ				NT
カヤツリグサ科	アズマスゲ				NT
カヤツリグサ科	タチスゲ				NT
カヤツリグサ科	ヌカスゲ				VU
カヤツリグサ科	ヒメシラスゲ				VU
カヤツリグサ科	ヤチカワズスゲ				EX

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-28(8) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
カヤツリグサ科	ヒメゴウソ				NT
カヤツリグサ科	タカネマスクサ				NT
カヤツリグサ科	タヌキラン				VU
カヤツリグサ科	コアゼテンツキ				NT
カヤツリグサ科	ノテンツキ				EN
カヤツリグサ科	アゼテンツキ				EN
カヤツリグサ科	オオイヌノハナヒゲ				DD
カヤツリグサ科	コイヌノハナヒゲ				DD
カヤツリグサ科	ヒメホタルイ				VU
カヤツリグサ科	コマツカサススキ				EN
カヤツリグサ科	マツカサススキ				NT
ラン科	シラン			NT	EN
ラン科	ムギラン			NT	CR
ラン科	エビネ			NT	EN
ラン科	ギンラン				VU
ラン科	ユウシュンラン			VU	CR
ラン科	キンラン			VU	EN
ラン科	ササバギンラン				NT
ラン科	ムカデラン			VU	CR
ラン科	サイハイラン				NT
ラン科	シュンラン				NT
ラン科	マヤラン			VU	DD
ラン科	クマガイソウ			VU	CR
ラン科	セッコク				EN
ラン科	エゾスズラン				VU
ラン科	オニノヤガラ				VU
ラン科	ベニシュスラン				DD
ラン科	アケボノシュスラン				EN
ラン科	ミヤマウズラ				NT
ラン科	シュスラン				CR
ラン科	ジガバチソウ				NT
ラン科	クモキリソウ				NT
ラン科	コ克蘭				EN
ラン科	ノヤマトンボ				NT
ラン科	トンボソウ				CR
ラン科	ウチョウラン			VU	CR
ラン科	カヤラン				NT
ラン科	ハクウンラン				EN
ラン科	キバナノショウキラン			EN	DD
キセルゴケ科	カシミールクマノゴケ			VU	CE
キセルゴケ科	クマノゴケ			NT	CE
ホウオウゴケ科	ジョウレンホウオウゴケ			VU	CE
キヌシッポゴケ科	チチブキヌシッポゴケ				CE
キヌシッポゴケ科	サンカクキヌシッポゴケ				VU
シッポゴケ科	マユハケゴケ			VU	VU
シッポゴケ科	マイマイゴケ				VU
シラガゴケ科	アラハシラガゴケ				VU
センボンゴケ科	ハナシアカハマキゴケ				VU

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-28(9) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
センボンゴケ科	ムカゴネヅレゴケ			CR+EN	CE
センボンゴケ科	サジバオウゴンゴケ				VU
センボンゴケ科	センボンウリゴケ				VU
ヒナノハイゴケ科	ヒメシワゴケ				VU
ハリガネゴケ科	ヤスダゴケ			NT	CE
チョウチンゴケ科	シノブチョウチンゴケ			VU	CE
タチヒダゴケ科	ホソミノゴケ				VU
イトヒバゴケ科	イトヒバゴケ			CR+EN	CE
ムジナゴケ科	ホソムジナゴケ				VU
ヒムロゴケ科	ナワゴケ				VU
ハイヒモゴケ科	キヨスミイトゴケ				VU
ハイヒモゴケ科	サイコクサガリゴケ				VU
ヒラゴケ科	ヒメタチヒラゴケ			CR+EN	CE
ヒラゴケ科	キダチヒラゴケ				VU
ヒラゴケ科	コメリンスゴケ				VU
ヒラゴケ科	キブリハネゴケ			NT	CE
アブラゴケ科	ツガゴケ				VU
クジャクゴケ科	コキジノオゴケ			NT	VU
ツキヌキゴケ科	ミドリホラゴケモドキ				CE
ツボミゴケ科	アイバゴケ				DD
ハネゴケ科	トサハネゴケ				VU
ハネゴケ科	ヨコグラハネゴケ				VU
ヤスデゴケ科	サカワヤスデゴケ			VU	DD
ヤスデゴケ科	シコクヤスデゴケ				DD
クサリゴケ科	コダマクサリゴケ				VU
クサリゴケ科	カビゴケ			NT	CE
クサリゴケ科	ツジベゴヘイゴケ				CE
ハマグリゼニゴケ科	ハマグリゼニゴケ			VU	VU
ジンガサゴケ科	アツバサイハイゴケ				CE
ジンガサゴケ科	オオサイハイゴケ			VU	CE
ジンガサゴケ科	ウルシゼニゴケ			CR+EN	CE
ジンガサゴケ科	イワゼニゴケ			CR+EN	CE
ウキゴケ科	ウキゴケ				VU
ウキゴケ科	イチョウウキゴケ			NT	VU
オオイシソウ科	アツカワオオイシソウ			CR+EN	CE
カワモズク科	イシカワモズク			CR+EN	CE
カワモズク科	カワモズク			VU	CE
カワモズク科	アオカワモズク			NT	CE
カワノリ科	カワノリ			VU	NT
シャジクモ科	シャジクモ			VU	VU
カワモズク科	チャイロカワモズク			NT	CE
イワノリ科	テガタアオキノリ				CE
ウメノキゴケ科	コウヤウメノキゴケ				VU
ウメノキゴケ科	ハコネゴンゲンゴケ				VU
ウメノキゴケ科	チヂレマツゲゴケ				VU
ウメノキゴケ科	オオスルメゴケ				VU
カブトゴケ科	キンブチゴケ				CE
カブトゴケ科	トゲヨロイゴケ				VU

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

表 5.2-28(10) 計画区域周辺で確認された貴重な植物種

科名	種名	選定基準			
		①	②	③	④
センニンゴケ科	センニンゴケ				NT
ツメゴケ科	フイリツメゴケ				NT
ヘリトリゴケ科	モクズゴケモドキ				NT
モジゴケ科	カバイロイワモジゴケ				NT
リキナ科	キセガワノリ				CE
リキナ科	ミタキノリ				CE
リキナ科	オオバキノリ			CR+EN	CE
キシメジ科	モミタケ				VU
キシメジ科	オオイチョウタケ				NT
キシメジ科	シャカシメジ				VU
キシメジ科	ホンシメジ				VU
テングタケ科	ヒメベニテングタケ				VU
テングタケ科	マツカサモドキ				NT
ウラボニガサ科	ヒョウモンウラボニガサ				NT
フウセンタケ科	ムレオオフウセンタケ				NT
イッボンシメジ科	イッボンシメジ				NT
ヒダハタケ科	ニワタケ				NT
オニイグチ科	アシナガイグチ				NT
オニイグチ科	キクバナイグチ				NT
オニイグチ科	トゲミノヒメイグチ				DD
イグチ科	アイゾメイグチ				NT
イグチ科	クリイロイグチモドキ				NT
イグチ科	ニガイグチ				VU
イグチ科	モエギアミアシイグチ				VU
イグチ科	ブドウニガイグチ				VU
ベニタケ科	ルリハツタケ				VU
シロソウメンタケ科	ベニセンコウタケ				VU
イボタケ科	クロカワ			DD	NT
イボタケ科	コウタケ				NT
ニンギョウタケモドキ科	ニンギョウタケモドキ			NT	NT
コウボウフデ科	コウボウフデ			DD	VU
アカカゴタケ科	カゴタケ				NT
アカカゴタケ科	ツノツマミタケ				VU
スッポンタケ科	キヌガサタケ				NT
ジャガイモタケ科	ジャガイモタケ				VU
ベニチャワンタケ科	ミミブサタケ				NT
セイヨウショウロタケ科	クルミタケ				DD
スチルベラ科	クモタケ				DD

注1：選定基準の番号は、表 5.2-27 に対応する。

2：種の並び順は「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）に準拠した。

出典：「1998 年版 埼玉県植物誌」（平成 10 年 3 月、埼玉県教育委員会）

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年 3 月、埼玉県）

3) 重要な植物群落、巨樹・巨木等の分布状況

関係町村における、国土交通省都市緑化データベースによると法律に基づく保存樹・保存樹林の指定状況は、埼玉県内においては指定が無い。条例に基づく保存樹・保存樹林の指定状況は表 5.2-29に示すとおりである。

また、「第6回自然環境保全基礎調査」による計画区域周辺の巨樹・巨木の状況は表 5.2-30に、分布状況は図 5.2-11に示すとおりである。

巨樹・巨木は計画区域に近接してシイノキがある。

表 5.2-29 条例に基づく保存樹及び保存樹林の指定状況

町村名	保存樹 (本)	保存樹林		生垣等	
		件数	面積 (m ²)	件数	延長 (m)
小川町	16	0	0.00	0	0.00

注：数値は平成29年3月31日現在の値である。

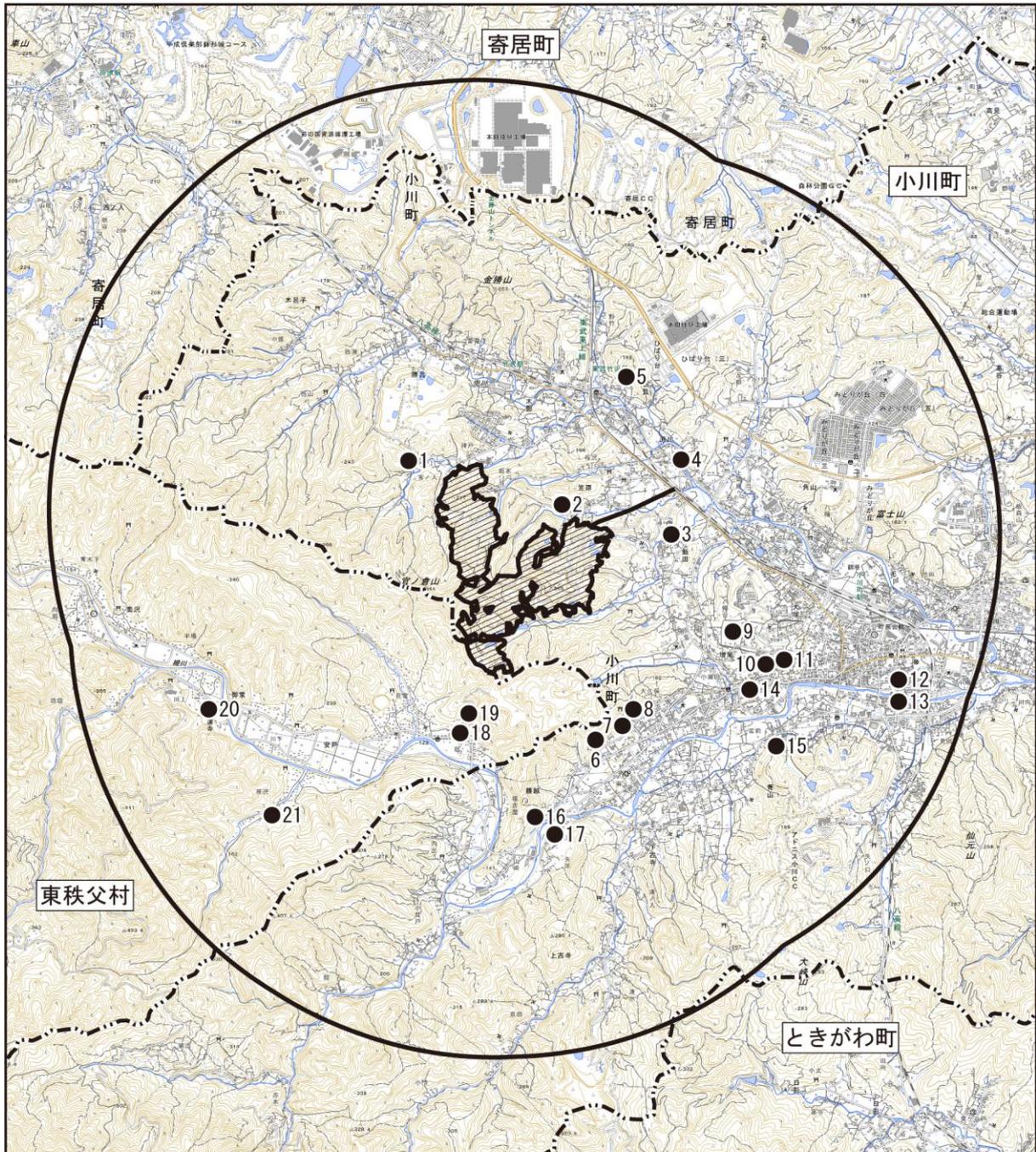
出典：「保存樹および保存樹林」（国土交通省都市緑化データベース）

表 5.2-30 計画区域周辺の巨樹・巨木の状況

図中番号	町村名	名称	樹種	幹周 (cm)	樹高 (m)
1	小川町	—	スギ	485	30
2		—	シイノキ	320	18
3		—	ケヤキ	386	30
4		—	ケヤキ	348	30
5		—	スギ	435	33
6		横川家のトチノキ	トチノキ	350	40
7		—	カヤ	348	27
8		—	スギ	314	30
9		—	ケヤキ	499	30
10		—	スギ	319	30
11		—	ケヤキ	360	30
12		—	ケヤキ	452	35
13		—	ケヤキ	317	30
14		—	ケヤキ	311	30
15		—	クスノキ	348	30
16		—	ケヤキ	321	30
17		—	ケヤキ	406	30
18	東秩父村	—	スギ	650	39
19		—	スギ	650	0
20		—	スギ	700	0
21		—	スギ	700	0

注：図中番号は、図 5.2-11 に対応。

出典：「自然環境調査 Web-GIS」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）



凡 例

-  計画区域及び関連施設
-  町村界
-  計画区域外周より半径3.0km
-  ●1~21 巨樹・巨木

N



1:50,000

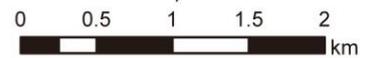


図 5.2-11

巨樹・巨木の分布状況

注：図中の番号は表 5.2-30 に対応する。

(3) 生態系

計画区域は、主にススキ群団、スギ・ヒノキ・サワラ植林、クレーコナラ群集、伐採跡地群落、ヤマツツジーアカマツ群集などで構成されており、計画区域の西側はスギ・ヒノキ・サワラ植林、クレーコナラ群集などであり、南側は、アラカシ群落、造成地、スギ・ヒノキ・サワラ植林などとなっている。

植物としては水辺に水生植物・湿性植物が繁茂し、魚類、底生動物、昆虫類、両生類、さらにそれらを採餌する鳥類などの好適な生息環境であり、地域の生態系が成立していると考えられる。

5.2.6 景観、自然とのふれあいの場の状況

(1) 景観

1) 地域景観状況

計画区域及びその周辺の地形は起伏が激しくその間をいくつもの河川が流れ、ため池も多くみられる。

計画区域の北側に兜川が、南側に槻川が流れ、計画区域北東に国道254号が、計画区域南側に県道11号熊谷小川秩父線が通っており、鉄道は計画区域の北東にJR八高線及び東武東上線が通っている。

土地利用状況は主に山林となっている。また、計画区域の東側には飯田集落センター、特別養護老人ホームさくらぎ苑が、北側には諏訪会館、木部区民センターが立地している。

なお、計画区域から南約2kmに「第3回自然環境保全基礎調査 埼玉県自然環境情報図（平成元年、環境庁）」で指定されている鍾乳洞「古寺鍾乳洞」が位置している。

2) 景観資源及び主要眺望点の状況

計画区域及びその周辺の景観資源は表 5.2-31に、主要眺望地点は表 5.2-32に、位置は図 5.2-12に示すとおりである。

計画区域最寄りの景観資源としては、北側約1.2kmにある東武鉄道東武竹沢駅駅舎がある。計画区域を眺望できる眺望点は、官ノ倉山や県立小川げんきプラザなどがある。

表 5.2-31 計画区域周辺の景観資源

町村名	図中番号	区分	景観資源名称	所在地
ときがわ町	●1	公園・広場	雀川砂防ダム公園	ときがわ町日影
小川町	●2	建築物	割烹旅館二葉本店本館	小川町大塚
小川町	●3	建築物	カタクリとオオムラサキの林休憩所兼展示場	小川町小川
小川町	●4	建築物	小川町立図書館	小川町大塚
小川町	●5	建築物	東武鉄道東武竹沢駅駅舎	小川町大字靱負字根岸山地内
東秩父村	●6	建築物	細川紙紙すき家屋	東秩父村御堂

注：図中番号は、図 5.2-12 に対応。

出典：「景観資源データベースシステム」（令和元年6月、埼玉県都市整備部田園都市づくり課HP）

表 5.2-32 計画区域周辺の主要眺望地点

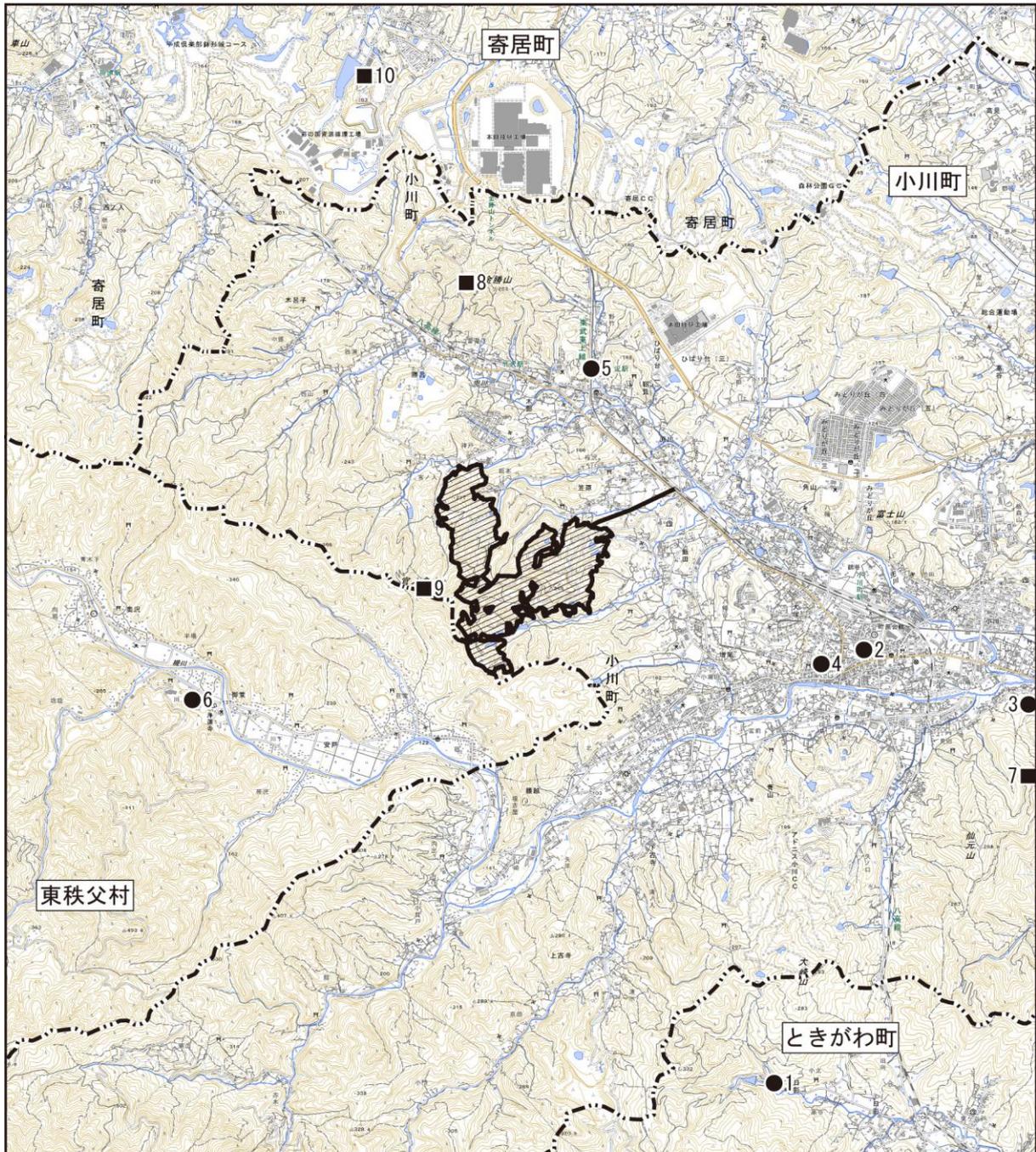
所在地	図中番号	名称	概要
小川町	■7	見晴らしの丘公園	小川町を眼下に眺めながら爽快に滑り降りる全長203mのローラーすべり台が人気。
小川町	■8	県立小川げんきプラザ	金勝山（263m）の山頂を中心にした広い敷地内に、宿泊施設やプラネタリウム館、野外活動施設等がある。
東秩父村	■9	官ノ倉山	官ノ倉山は標高344mと低い山であるが、眺望もよく、近くには石尊山もある。
寄居町	■10	三ヶ山緑地公園	寄居町が一望できる展望台「風のとりで」、円形広場、ちびっこ広場、あずまや等が配置されている。

注：図中番号は、図 5.2-12 に対応。

出典：「観光スポット」（小川町観光協会HP）

「東秩父村公式観光サイト ひがしちちぶ」（東秩父村産業建設課HP）

「三ヶ山緑地公園」（令和元年9月、埼玉県環境部環境整備センターHP）



凡 例

-  計画区域及び関連施設
-  町村界
-  1～6 景観資源
-  7～10 眺望点



1:50,000

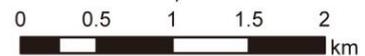


図 5.2-12

景観資源及び
主要眺望点位置図

注：図中の番号は表 5.2-31、表 5.2-32 に対応する。

3) 自然とのふれあいの場

計画区域周辺の自然とのふれあいの場を表 5.2-33に、位置は図 5.2-13に示すとおりである。

計画区域内に官ノ倉山ハイキングコースがある。また、公園等は北側約200mに位置する深田第1公園などがある。

表 5.2-33(1) 計画区域周辺の主要な自然とのふれあいの場（ハイキングコース等）

図中番号	内容		
A	小川町健康長寿 ウォーキングマップ	(1) 万葉の歌と八幡台史跡めぐりコース	
B		(2) 町並みと栃本親水公園をめぐるコース	
C		(3) 下小川の歴史と自然をめぐるコース	
D		(6) 歴史を偲ぶ腰越城コース	
E		(7) 腰越二区周辺コース	
F		(8) 西中学校～穴八幡コース	
G		(9) 慈眼寺コース	
H		(10) 腰中コース	
I		(11) 竹沢公民館周回コース	
J		(12) 東武竹沢駅周回コース	
K		(13) 東武竹沢駅～国道 254 バイパス周回コース	
L		(19) みどりが丘コース	
M		小川町ハイキングコース	仙覚万葉コース
N			お寺と手すき和紙のふるさとを訪ねるコース
O	小川町南部外輪山下里コース		
P	官ノ倉山ハイキングコース		
Q	館川ダムを訪ねるコース		
R	慈光寺・館川ダムハイキングコース		
S	武田氏ゆかりの地から埼玉伝統工芸会館を訪ねるコース		
T	東秩父村ハイキングマップ	官ノ倉ハイキングコース	
U		笠山峠ハイキングコース	

注1：図中番号は、図 5.2-13 に対応。

2：小川町ハイキングコースは、バスルートは除いた。

出典：「小川町健康長寿ウォーキングマップ」（小川町健康福祉課 HP）

「おがわまちロードマップ・タウンガイド」（小川町観光協会 HP）

「ハイキングコース案内」（東秩父村産業建設課 HP）

表 5.2-33(2) 計画区域周辺の主要な自然とのふれあいの場（公園）

No	内容	名称	所在地
●1	公園	栃本親水公園	小川町大字青山 948 他
●2		見田公園	小川町大字青山 557-2 他
●3		春日公園	小川町大字大塚 264-1
●4		腰越公園	小川町大字腰越 444-1 他
●5		蟹沢沼緑地	小川町大字大塚 691
●6		陣屋沼緑地	小川町大字大塚 339 他
●7		鶴巻公園	小川町大字大塚 1225-14 他
●8		御門公園	小川町大字大塚 921-22
●9		大豆五駄第 2 公園	小川町大字小川 740
●10		深田第 1 公園	小川町大字木部 293-68
●11		深田第 2 公園	小川町大字勝呂 44-121
●12		梶山公園	小川町大字高谷 2496-44
●13		飯森山公園	小川町大字高谷 1233-36
●14		旭ヶ丘公園	小川町大字高谷 2580-28
●15		寺峰西公園	小川町大字大塚 496-32
●16		寺峰東公園	小川町大字大塚 498-99
●17		小川南公園	小川町大字小川 369-5
●18		角山公園	小川町大字角山 223-7 他
●19		槻川親水公園	小川町大字小川 327
●20		小川北公園	小川町大字小川 485-4
●21		みどりが丘芹沢公園	小川町みどりが丘 1-8-19
●22		みどりが丘中央公園	小川町みどりが丘 3-20-2
●23		みどりが丘長谷公園	小川町みどりが丘 4-1-13
●24		みどりが丘北越公園	小川町みどりが丘 3-17-2
●25		みどりが丘段公園	小川町みどりが丘 2-7-14
●26		みどりが丘末広公園	小川町みどりが丘 5-21-11
●27		みどりが丘北台公園	小川町みどりが丘 4-24-2
●28		青山公園	小川町大字青山 385-1
●29		青山第 2 公園	小川町大字青山 2426-58
●30		通木公園	小川町大字韮負 587-1
●31		杉ノ木公園	小川町大字大塚 1216-17
●32		白樫公園	小川町大字小川 516-2
●33		天神谷公園	小川町大字木部 864-18
●34		的場公園	小川町大字大塚 652
●35		三ヶ山緑地公園	寄居町大字三ヶ山 368
●36		陣川橋水辺公園	東秩父村御堂 364 他

注：図中番号は、図 5.2-13 に対応。

出典：「おがわ（施設）マップ」（小川町 HP）

「子育て応援ブック」（平成 27 年 9 月、寄居町子育て支援課 HP）

表 5.2-33(3) 計画区域周辺の主要な自然とのふれあいの場（その他の施設）

No	内容	名称	所在地
■37	スポーツ 施設	八幡台グラウンド	小川町大字大塚 440
■38		小川町立武道館	小川町大字高谷 2510
■39		安戸グラウンド	東秩父村大字安戸 386
■40		御堂テニスコート	東秩父村大字御堂 486
■41		ふれあい広場	東秩父村大字御堂 549
■42	キャンプ場	埼玉県立小川げんきプラザ	小川町大字木呂子 561
■43	神社・寺院	東昌寺	小川町角山 293
■44		大塚八幡神社	小川町大塚 427
■45		妙栄山 浄蓮寺	東秩父村大字御堂 362
■46	農園	レクリエーション農園	東秩父村大字御堂 441
■47		岡本自然農園	小川町青山 1280
■48	体験施設	小川町和紙体験学習センター	小川町大字小川 226
■49		道の駅 和紙の里ひがしちちぶ	東秩父村大字御堂 441
■50	観光 案内所	観光案内所「楽市おがわ」	小川町大字小川 1220
■51	温泉施設	おがわ温泉 花和楽の湯	小川町大字角山 26-2

注：図中番号は、図 5.2-13 に対応。

出典：「おがわ（施設）マップ」（小川町 HP）

「小川町子育て応援ナビ」（小川町 HP）

「観光スポット」（小川町観光協会 HP）

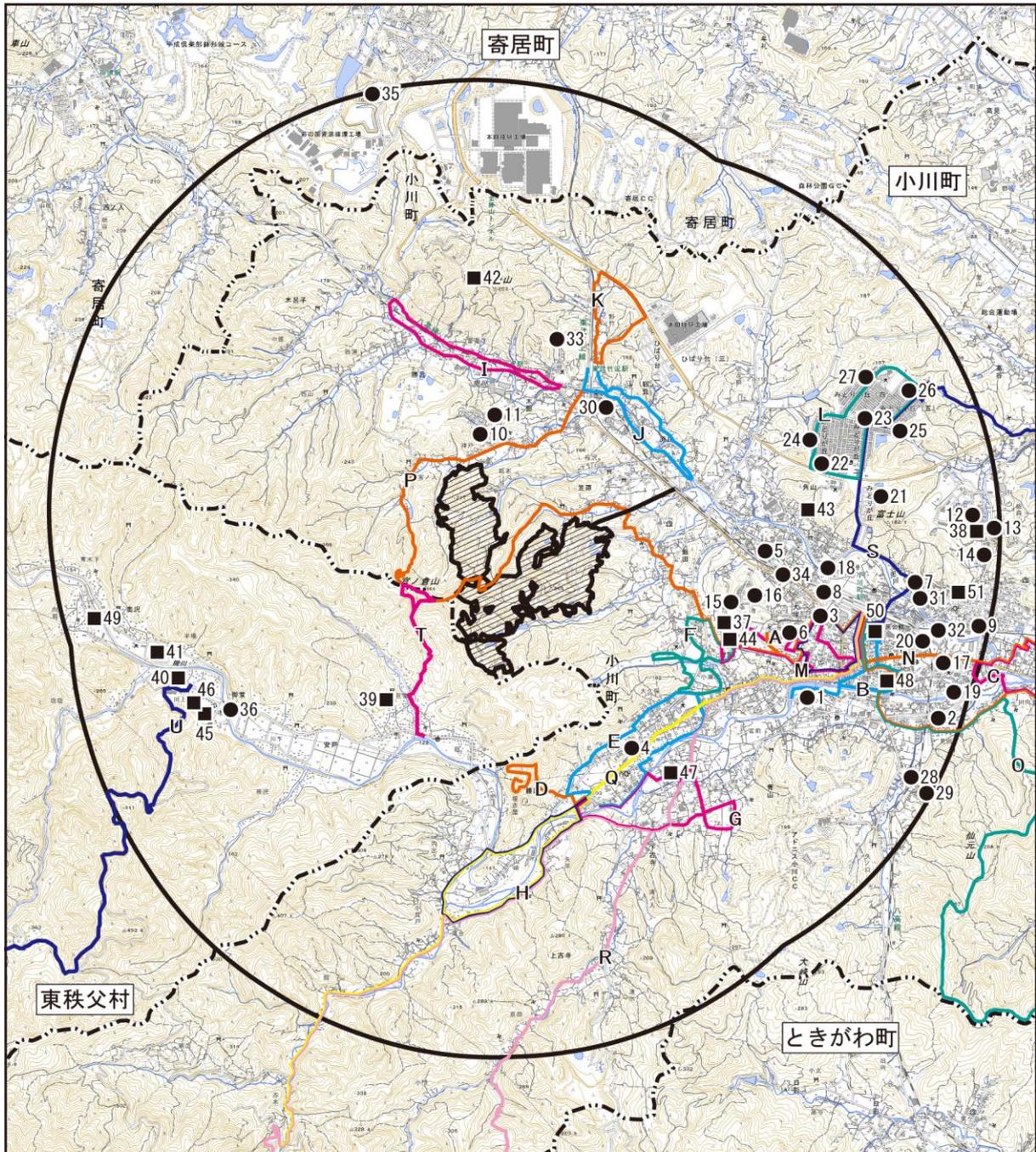
「子育て応援ブック」（平成 27 年 9 月、寄居町子育て支援課 HP）

「体育施設利用案内」（東秩父村 HP）

「東秩父村の観光施設・名所」（東秩父村産業建設課 HP）

「観光案内」（東秩父村商工会 HP）

「スポナビ！サイタマ！（施設一覧）」（埼玉県県民生活部スポーツ振興課 HP）



凡 例

-  計画区域及び関連施設
-  町村界
-  計画区域外周より半径3.0km
-  ハイキングコース等(A~U)
-  公園(1~36)
-  その他の施設(37~51)

N



1:50,000

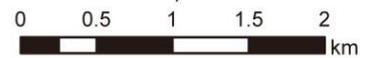


図 5.2-13

主要な自然との
ふれあいの場の状況図

注：図中の番号は表 5.2-33 に対応する。

5.2.7 文化財その他の生活環境の状況

(1) 指定文化財

計画区域及びその周囲3km以内に存在する指定文化財（建造物および記念物）は表 5.2-34及び図 5.2-14に示すとおりである。

計画区域にもっとも近い指定文化財としては、計画区域北西側約300mに位置する小川町指定文化財の三光神社の大スギがある。

表 5.2-34 計画区域周辺の指定文化財

町村	図番号	区分	種類	名称	所在地・管理場所等
小川町	◆1	国指定文化財	有形文化財（建造物）	吉田家住宅	小川町勝呂 424
	■2	県指定文化財	記念物（史跡）	穴八幡古墳	小川町増尾 63-1
	■3			腰越城跡	小川町腰越字南城山 2375
	■4		記念物（旧跡）	仙覚律師遺跡	小川町大塚中城 351
	■5		記念物（天然記念物）	古寺鍾乳洞	小川町古寺 176
	●6	町指定文化財	記念物（歴史資料）	飢饉警告之碑	小川町大字勝呂 810-2
	●7			青山の百庚申付円城寺富士講碑	小川町大字青山 654
	●8		記念物（史跡）	中城跡	小川町大字大塚 338
	●9		記念物（天然記念物）	熊野神社の大スギ	小川町靱負 343
	●10			白山神社の大カシ	小川町増尾 32
	●11			八幡神社の大ケヤキ	小川町大塚 428
	●12			横川家のトチノキ	小川町大字腰越 2358
	●13			青山氷川神社の森	小川町青山 1312
	●14			根岸山の大グミ	小川町大字靱負 730 - 1
	●15			自性院のカヤ	小川町大字腰越 323
	●16	三光神社の大スギ		小川町木部 458	
	●17	青山天満宮のヒサカキ	小川町大字青山 2452		
東秩父村	■18	県指定文化財	記念物（史跡）	上田朝直墓	東秩父村御堂 360
	●19	村指定文化財	有形文化財（建造物）	祖師堂	東秩父村御堂 362
	●20		記念物（史跡）	安戸城跡	東秩父村御堂 1529-7
	●21		記念物（天然記念物）	天神社大杉	東秩父村安戸 53
	●22			浄蓮寺境内林	東秩父村御堂 362 他

注：図中番号は、図 5.2-14 に対応。

出典：「埼玉県内の国・県指定文化財」（平成 31 年 3 月、埼玉県教育局文化資源課 HP）

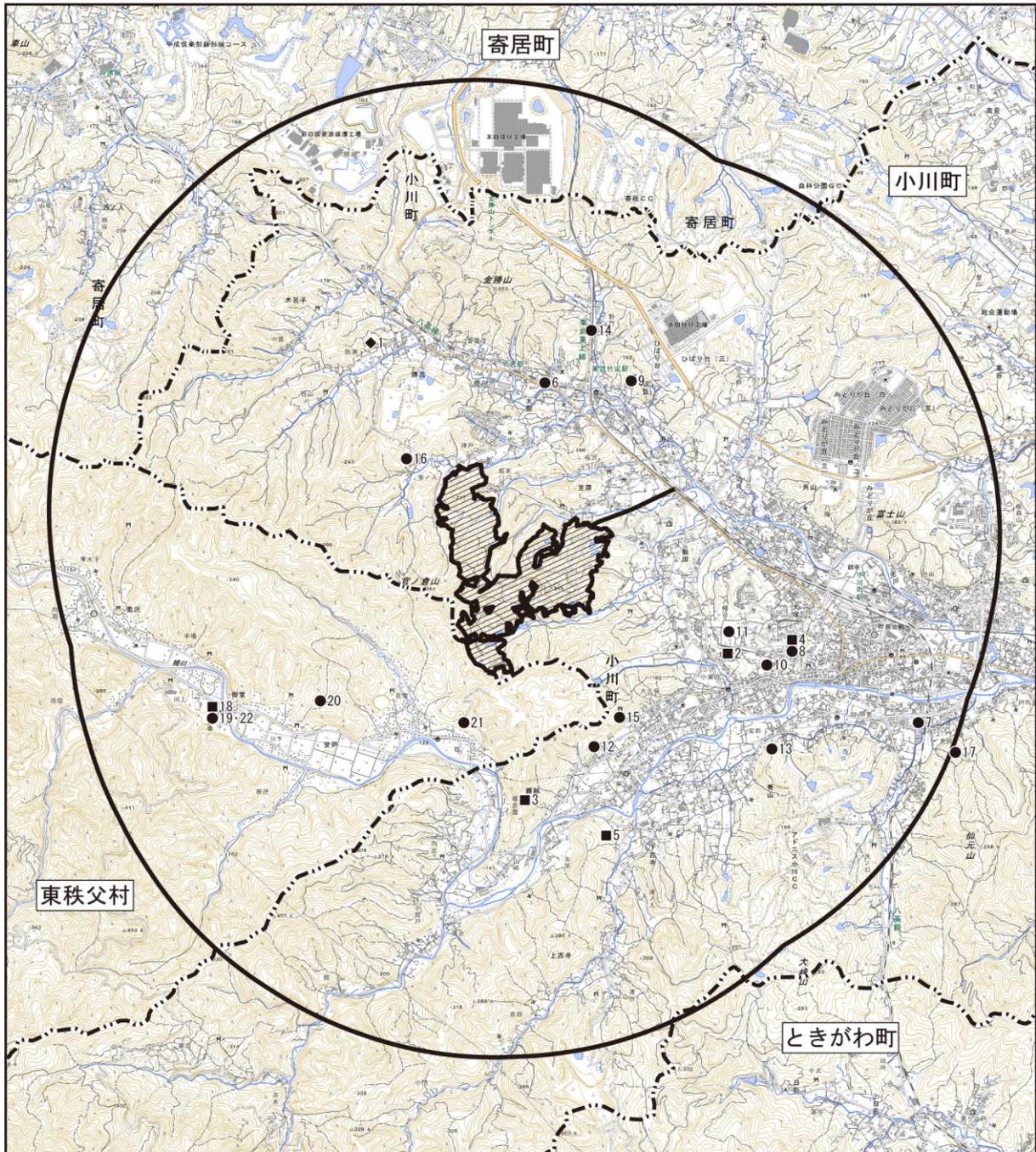
「小川町内所在の指定文化財一覧」（令和元年 5 月、川町生涯学習課 HP）

「統計おがわ 平成 28 年度版」（平成 29 年 3 月、小川町）

「小川町地域防災計画 資料編」（令和元年 7 月、小川町防災会議）

「東秩父村防災計画」（平成 31 年 4 月、東秩父村総務課 HP）

小川町教育委員会生涯学習課ヒアリング



凡 例

-  計画区域及び関連施設
-  町村界
-  計画区域外周より半径3.0km
-  1 国指定文化財
-  2~5・18 県指定文化財
-  6~17
19~22 町・村指定文化財

N



1:50,000

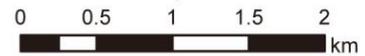


図 5.2-14

指定文化財の分布状況図

注：図中の番号は表 5.2-34 に対応する。

(2) 埋蔵文化財

計画区域及びその周囲3km以内に周知の埋蔵文化財包蔵地は表 5.2-35及び図 5.2-15に示すとおりである。計画区域内には埋蔵文化財包蔵地は確認されていない。

表 5.2-35(1) 計画区域周辺の埋蔵文化財包蔵地

町名	遺跡番号	遺跡名	種別	時代
小川町	1	広見東遺跡	集落跡	平安
	2	広見西遺跡	集落跡	縄文・平安
	3	宮山遺跡	集落跡・散布地	縄文
	4	日附田遺跡	集落跡	縄文・平安
	5	梅王塚古墳	古墳	古墳
	6	寺峯A遺跡	集落跡	縄文・奈良・平安
	7	八幡台遺跡	集落跡	縄文・奈良・平安・室町・戦国
	8	でんがくぼう塚	その他	
	9	下万所B遺跡	集落跡	縄文・平安
	10	穴八幡古墳	古墳	古墳
	11	笹山遺跡	集落跡	平安
	12	小坂遺跡	集落跡	縄文・弥生
	13	愛宕古墳	古墳	古墳
	14	峯坂遺跡	集落跡	縄文・奈良・平安
	22	下万所塚	その他	不明
	23	経塚	経塚	不明
	24	宮ノ脇遺跡	集落跡	弥生・奈良・平安
	25	中井遺跡	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安
	26	宮子遺跡	集落跡	縄文
	31	高谷砦跡	城跡	室町・戦国
	34	中条跡(仙覚律師遺跡)	城跡	室町・戦国
	40	古寺鍾乳洞	その他	鎌倉
	41	西浦遺跡	集落跡	縄文・奈良・平安
	42	古寺鍾乳洞前遺跡	集落跡・その他	縄文
	43	太田入塚	その他	不明
	44	太田入遺跡	集落跡	縄文
	46	下万所C遺跡	窯跡	不明
	51	伝長尾四郎高勝墓	墓・その他	室町
	63	伝長尾四郎高勝夫人墓	墓・その他	室町
	65	番場遺跡	集落跡	縄文
	69	内出遺跡	集落跡	縄文・平安
	75	一ノ入遺跡	墓	南北朝
	76	神名沢A遺跡	集落跡	奈良
	77	耕地遺跡	集落跡	平安
	81	腰越城跡	城跡	室町・戦国
	98	慈光平遺跡	寺院跡	平安
	99	下政所A遺跡	集落跡	縄文
100	別所遺跡	集落跡	縄文	
101	伝竹沢氏館跡		南北朝・室町・戦国	
102	塚場遺跡	集落跡	縄文・平安	
103	塚場塚	その他	不明	
104	塚場古墳	古墳	古墳	
105	鮫ヶ井遺跡	集落跡	平安	
106	寺ノ谷塚	その他	不明	
107	蟹沢遺跡	その他	不明	

注1：遺跡番号は、図 5.2-15 に対応。

2：遺跡番号は出典元で採番。

出典：「埼玉県埋蔵文化財情報公開ページ(埼玉県全域地図)」

(平成28年9月、埼玉県教育局生涯学習文化財課HP)

表 5.2-35(2) 計画区域周辺の埋蔵文化財包蔵地

町名	遺跡番号	遺跡名	種別	時代
小川町	116	中嶋遺跡	集落跡	奈良・平安
	117	神明河原遺跡	集落跡	奈良・平安
	118	下町遺跡	集落跡	古墳
	123	河原遺跡	集落跡	奈良・平安
	124	大沢遺跡	集落跡	奈良・平安
	125	味正作遺跡	集落跡	奈良・平安
	126	金山遺跡	その他	不明
	127	山際遺跡	集落跡	平安
	128	春日井戸遺跡	集落跡	縄文・奈良・平安
	130	広地遺跡	集落跡	奈良・平安
	131	田島遺跡	集落跡	奈良・平安
	132	寺峯B遺跡	集落跡	縄文・奈良・平安
	133	宮前遺跡	集落跡	奈良・平安
	134	金井遺跡	集落跡	奈良・平安
	135	田中遺跡	集落跡	奈良・平安
	136	花ノ木遺跡	集落跡	縄文・奈良・平安
	137	水穴遺跡	集落跡	奈良・平安
	138	谷上遺跡	集落跡	縄文・奈良・平安
	139	清水遺跡	集落跡	縄文・奈良・平安
	140	堀北遺跡	集落跡	奈良・平安
	141	南遺跡	集落跡	奈良・平安
	142	宮ノ平遺跡	集落跡	奈良・平安
	143	鶴ノ舞遺跡	集落跡	鎌倉・南北朝・室町・戦国
	144	矢岸遺跡	集落跡	奈良・平安
	146	山崎遺跡	集落跡	奈良・平安
	147	越湯遺跡	集落跡	縄文
	148	神名沢B遺跡	集落跡	縄文
	149	大平遺跡	集落跡	縄文
150	細谷遺跡	集落跡	縄文	
151	卯月畑遺跡	集落跡	縄文	
154	上古寺氷川神社遺跡	集落跡・祭祀	縄文・鎌倉	
155	甲長谷遺跡	集落跡	縄文	
寄居町	188	伝旧不動寺跡	寺院跡	
	245	銭小田遺跡	集落跡	

注1：遺跡番号は、図 5.2-15 に対応。

2：遺跡番号は出典元で採番。

出典：「埼玉県埋蔵文化財情報公開ページ（埼玉県全域地図）」
 （令和元年7月閲覧、埼玉県教育局生涯学習文化財課 HP）

表 5.2-35(3) 計画区域周辺の埋蔵文化財包蔵地（東秩父村）

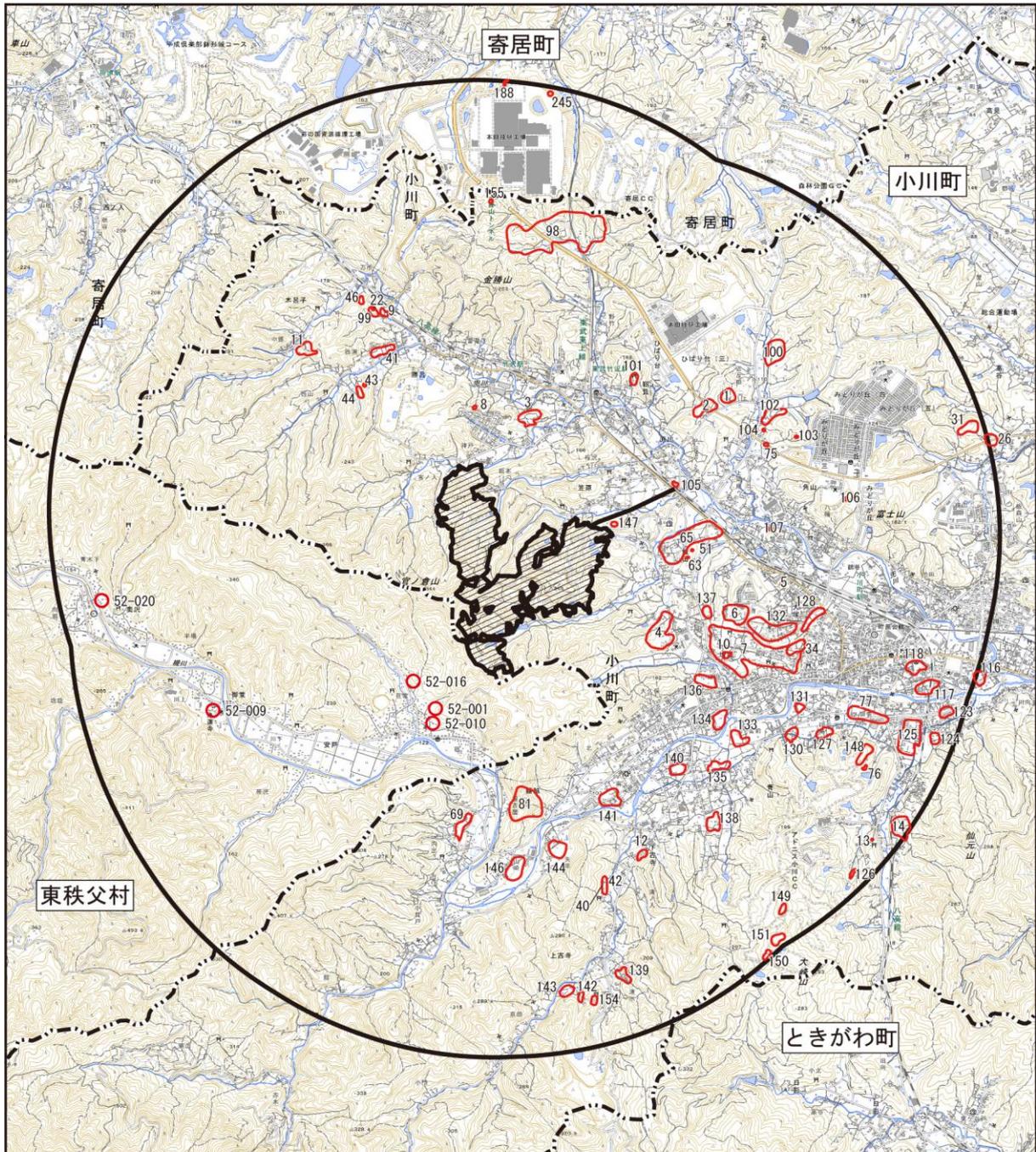
遺跡番号	遺跡名	時代・時期	主な出土品等	所在地
52-001	大都遺跡	縄文平安	縄文式土器深鉢、縄文式土器片、須恵器坏、土師器坏	大字安戸 97 他
52-002	清正公山山頂遺跡	縄文・早中期	茅山上層式土器片、加曾利E式土器片、石皿	大字御堂
52-009	大河原氏館跡	平安～鎌倉	秩父丹党一族の大河原弥四郎時秀が大河原に移住	大字御堂 362
52-010	山田館跡	室町戦国	土塁・空堀の一部残存	大字安戸 93
52-011	上田朝直墓	室町戦国		大字御堂 360
52-015	鍛冶屋遺跡	室町戦国	鉄滓、羽口	大字坂本 1288 他
52-016	春藤遺跡	縄文・中期	加曾利E式土器片、黒燿石原石	大字安戸 281-3 他
52-017	堂庭遺跡	江戸	新編式蔵風土記稿挿図にある石段部出土	大字坂本 2750-1 他
52-018	天神山遺跡	縄文・前期	諸磯b式土器片、焼礫	大字安戸 1126-1 他
52-019	大久保遺跡	縄文前、平安	諸磯b式土器片、石器、須恵器、土師器、鉄滓	大字安戸 1198-1 他
52-020	関場遺跡	縄文晩、江戸	安行式土器片、石剣、石棒鋳物師屋敷跡	大字奥沢 206-1 他

注1：遺跡番号は、図 5.2-15 に対応。（一部、場所が特定できないものは示していない。）

2：遺跡番号は出典元で採番。

3：平成 27 年 4 月 1 日現在

出典：「東秩父村地域防災計画」（平成 28 年 3 月、東秩父村）



凡 例

-  計画区域及び関連施設
-  町村界
-  計画区域外周より半径3.0km
-  埋蔵文化財

N



1:50,000

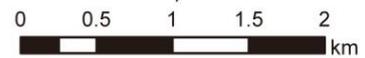


図 5.2-15

埋蔵文化財位置図

注：図中の番号は表 5.2-35 に対応する。

5.2.8 一般環境中の放射性物質に係る環境の状況

計画区域周辺における放射線の測定結果は表 5.2-36に、位置は図 5.2-16に示すとおりである。

計画区域周辺における放射線の測定結果は、0.0418～0.1314 μ Sv/hであった。

表 5.2-36(1) 県有施設における放射線測定結果（小川高等学校）

測定箇所	高さ(cm)	測定値(μ Sv/h)	高さ(cm)	測定値(μ Sv/h)
植栽	100	0.0638	1	0.0724
側溝		0.065		0.1314
側溝		0.0548		0.0684
側溝		0.0596		0.1204
側溝		0.06		0.0962
集水マス		0.0606		0.054
側溝		0.0562		0.0638
側溝		0.0586		0.0778
集水マス		0.0586		0.0584
平均的な場所		0.0418		0.0534

注：測定日（平成 23 年 11 月 18 日）

出典：「県有施設における放射線の測定結果について」（平成 30 年 3 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

表 5.2-36(2) 県有施設における放射線測定結果（三ヶ山緑地公園）

測定箇所	高さ(cm)	測定値(μ Sv/h)	高さ(cm)	測定値(μ Sv/h)
側溝	50	0.07	1	-
その他の遊具		-		0.126
平均的な場所		0.084		0.090

注：測定日（平成 23 年 11 月 21 日）

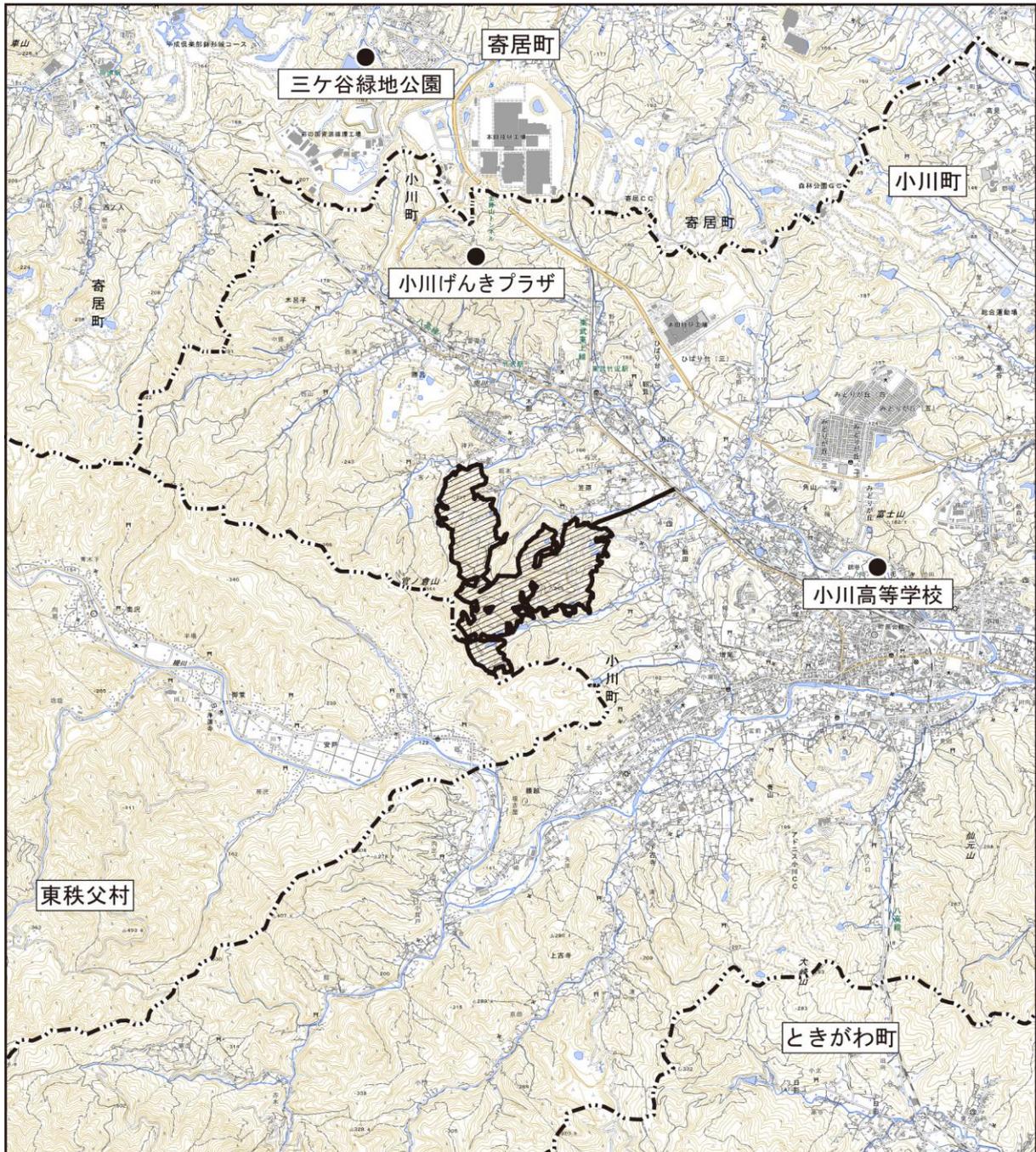
出典：「県有施設における放射線の測定結果について」（平成 30 年 3 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

表 5.2-36(3) 県有施設における放射線測定結果（小川げんきプラザ）

測定箇所	高さ(cm)	測定値(μ Sv/h)	高さ(cm)	測定値(μ Sv/h)
その他	50	0.079	1	0.0834
その他		0.0616		0.0614
その他		0.0872		0.0918
その他		0.0702		0.0658
その他		0.06		0.0508
その他		0.0854		0.0782
その他		0.0762		0.074
その他		0.048		0.046
その他		0.0756		0.0744
その他		0.0728		0.0658

注：測定日（平成 23 年 11 月 18 日）

出典：「県有施設における放射線の測定結果について」（平成 30 年 3 月、埼玉県環境部水環境課 HP）



凡 例

-  計画区域及び関連施設
-  町村界
-  放射線調査地点

N



1:50,000



図 5.2-16

放射線調査位置地点